

特 71

富田 蟻陵 著

富田 蟻陵 著

# 簡易 手續 男女就職案内

附録 最簡易なる就業便宜の學校と  
苦學生の執るべき最も安全なる職業

東京

青松堂發兌



301509-001-6

特71-966

簡易手續男女就職案内

富田 蟻陵 著

M43.5

BDH-0001

95115  
156

特71  
966

緒言

片田舎に引込んで居る有爲の青年や婦女子が、遠き東都に出て何  
 うか金持になつて見たい、事業に大成功を遂げたいと思つて居る  
 が、生憎東都の様子も知らねば、従つて職にありつく傳手を求め難  
 い所から、とうとう目的を達せんで仕舞うような始末にもなり、時  
 には輕擧にも東都に出て來て、彼方此方と職を尋ね歩つたものゝ、  
 見當らぬので之れも矢張り失望落膽、其結果は自暴自棄を起し、折  
 角の志望も今は何れにか去つて、不成功否を失意の人となるので  
 ある。これは實に有り勝の事て、著者も深く事情を目撃し、甚だ残念  
 に思つて居るのです。

そこで忽ち胸に浮んだのが此書物で、何うかして右の不便を去り  
 有爲の青年が方針を誤まらぬ爲めには、是非就職の方法手續を明  
 かにし、一方に於ては上京の時期、周旋業者の内情、生活の費用等  
 一切の事柄を精査して、夫れく注意を促したのであります。  
 思ふに目的を抱いて上京し、職に就かふとする諸君は、先づ本書に  
 示す所に能くれ氣を注められ、決して失敗せぬやう致して貰ひた  
 い、否か右の方法に依りたならば、速かに一定の職に就く事か出来  
 る。即ち本書は求職者の福音として、鼓鐘を鳴らしつゝ、弘く諸君  
 の前に現はれた譯けてす。

著者識

特刊  
966

手簡易男女就職案内

附録

最簡易なる就職便宜の學校と苦  
 學生の執るべき最安全なる職業

目次

東京鐵道株式會社……………一

▲執るべき職務▲試験をなす資格▲試験志願書▲試験合格後の待遇▲營  
 業時間▲等級と手當▲行賞と特別手當▲賞與品▲藤督事務員に拔擢

内外汽船乗込員……………一一

▲船員の種類と試験▲給料及見習期間▲必要な書類▲周旋所▲海員液濟  
 會▲周旋所と共謀の詐偽

警視廳巡查看守……………二二

- ▲無試験採用者 ▲志願者資格 ▲試験科目 ▲試験日 ▲合格者 ▲俸給 ▲願書  
書式 ▲看守の願書と試験 ▲合格者 ▲教科目 ▲巡查看守給料 .....三〇
- 赤十字社臨時看護人見習 .....三二
- ▲設備採用 ▲練習と給料 ▲旅費の額 ▲願書履歴書 ▲看護人の俸給 .....三七
- 日本製靴株式会社 .....三九
- ▲年齢と給料 ▲契約及積立 ▲志願手續 .....四一
- 千住製絨所 .....四二
- ▲志願者心得 ▲採用者 ▲給料 .....四三
- 鐘ヶ淵紡績會社 .....四四
- ▲届ける書類 ▲戸籍抄本 ▲年齢と給金 ▲寄宿舎 ▲消費組合 .....四六
- 古河鑛業會社本所銻銅所 .....四八

- 砲兵工廠 .....四八
- ▲採用の機會 ▲入職志願の手續 ▲給料と支拂日 ▲勤務時間と休日 ▲職工の階級 ▲救済法 .....四九
- 男雇人口入業 .....五四
- ▲口入業と本人 ▲雇入業者の規定 ▲雇人の大々不足 ▲千束屋帳場の直話 .....五〇
- 人夫と其個所 .....六〇
- ▲砲兵工廠前 ▲部屋人夫と辨當持 ▲札場と人夫 ▲札場と親方株 ▲法被と給料 ▲大塚彈藥庫前 ▲働くべき仕事 ▲陸軍戸山學校前 ▲電燈會社 ▲鐘詰職工 .....六一
- 電話交換局 .....六七
- ▲女子通信事務員 ▲志願資格 ▲保證人 ▲試験科目 ▲業務と給料 ▲電話交 .....六七

換手▲募集期及願書▲採用試験▲見習生▲執務時間▲睡眠時間▲休暇と  
 休息▲給料と授與手當……………七四

爲替貯金管理所……………七四

▲採用せる理由▲募集期と資格▲事務の種類▲勤務時間と俸給

鐵道院……………七七

▲採用の方法▲採用試験▲試験科目▲事務及給料

通信局電務課……………七八

▲募集期と志願書▲年齢及資格▲業務▲勤務時間と給料

三越吳服店……………八三

▲入店手續▲資格と事務▲勤務時間▲給料▲裁縫

帝國生命保險會社……………八六

▲志願手續▲採用試験▲見習▲事務▲執務時間▲給料

株式仲買店……………八八

▲採用手續▲店向きの人▲給料額

東京鐵道株式會社……………九〇

▲志願の手續▲事務▲給料▲勤務時間

日本銀行……………九三

▲志願手續▲採用試験▲勤務時間▲給料▲入行後の注意

日本勸業銀行……………九五

▲採用試験▲試験程度▲志願資格▲事務▲給料▲勤務時間▲缺勤手續

帝國博品館……………九七

▲志願の手續▲事務▲給料額

看護婦及產婆……………九八

▲看護婦講習生▲助手の日當▲試験と免狀▲試験期日と願書▲試験科目

▲看護婦會 ▲產婆養成所 ▲入學資格と募集期 ▲學科と學資 ▲當分は助手  
▲大學の產婆復習科

女 雇 人 口 入 業 ..... 一〇六

▲親戚知己に便る ▲曖昧な雇ひ先 ▲確實な口入先 ▲周旋料

諸 工 場 の 女 工 ..... 一一〇

▲印刷局の女工 ▲砲兵工廠職工 ▲製絲紡績工女 ▲鐘詰女工 ▲團扇の張子  
▲諸他の内職

### 附 録

最簡易なる就職便宜の學校と苦  
學生の執るべき最安全の職業

銀行事務員養成所 ..... 一一五

▲目的 ▲教科目と卒業期 ▲入所期及資格 ▲授業時間 ▲學費 ▲特典 ▲寄宿  
舎

主 計 學 校 ..... 一二八

▲目的 ▲學科 ▲課目の種類 ▲學年と學費 ▲高等主計科 ▲隨意英語科

清 語 學 堂 速 成 科 ..... 一二〇

▲主旨 ▲學科 ▲修業期限 ▲授業時間及授業料

露 語 講 習 會 ..... 一一二

▲目的 ▲速成科 ▲修業期限及授業時間 ▲學費

東 京 速 記 者 研 究 學 會 ..... 一二三

▲目的 ▲科目 ▲授業時間 ▲學費 ▲校外生

臺 灣 協 會 專 門 學 校 ..... 一二五

▲目的 ▲學校と修業年限 ▲入學資格及入學金 ▲學費 ▲特待生と貸費生

校長と特點 ▲寄宿舎

岩 倉 鐵 道 學 校 ..... 一二八

▲目的 ▲學年及學期科目と授業時數 ▲入學期及入學資格 ▲學費 ▲高等科  
▲寄宿舎 ..... 一三〇

東京高等 附屬職工徒弟學校 ..... 一三〇

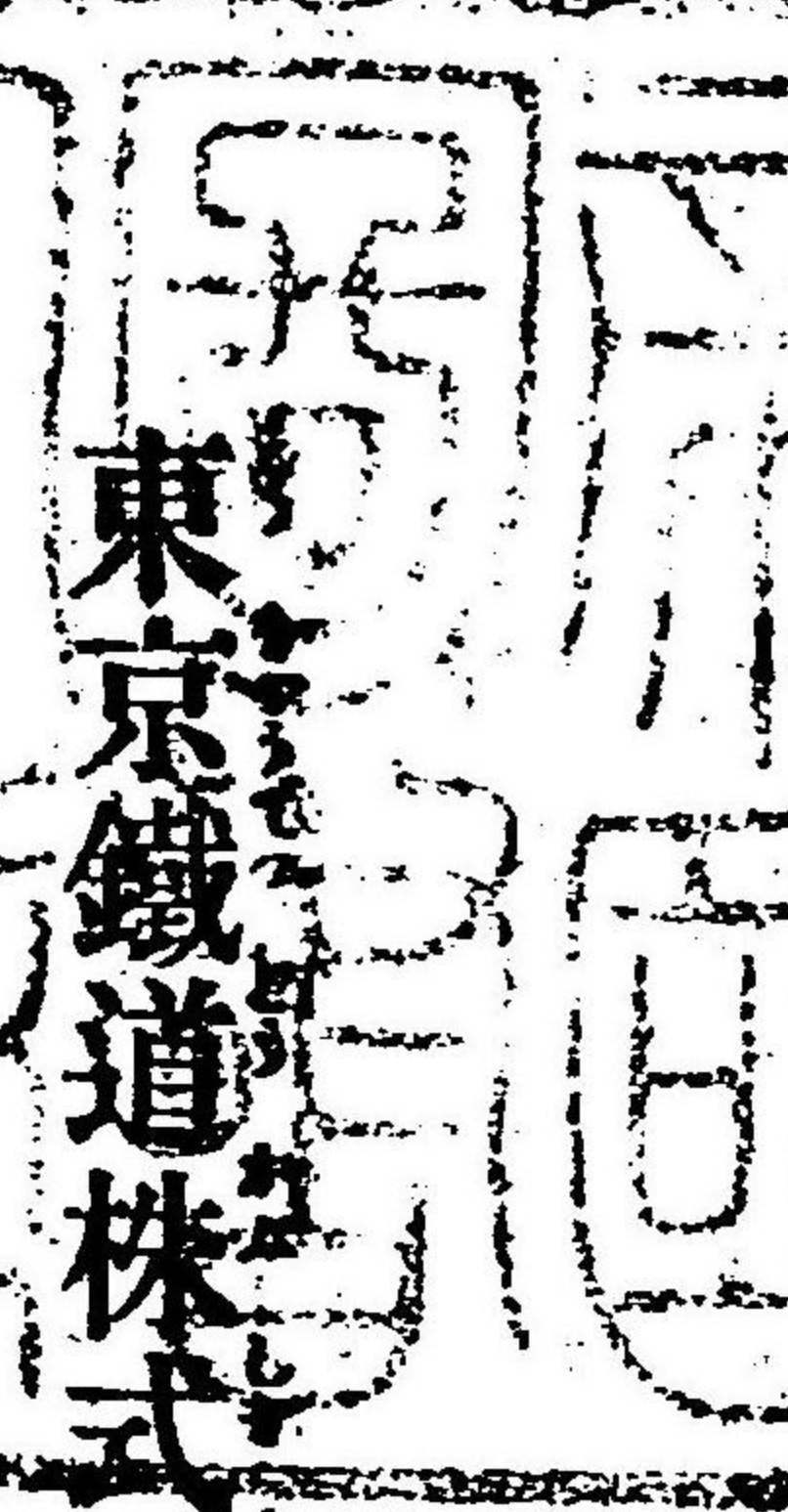
▲目的 ▲教科々目 ▲修業年限及授業時數 ▲入學試験 ▲受験資格 ▲學費 ▲  
貸與 ▲必要品 ▲卒業生 ▲卒業生の給料 ..... 一三五

工 手 學 校 ..... 一三五

▲目的 ▲修業年限と學科 ▲課目 ▲生徒及傍聽生 ▲入學試験 ▲學費  
苦學生の執るべき最安全なる職業 ..... 一三八

目次終

手傭男女就職案内



東京鐵道株式會社

(麹町區)

富田 蟻 陵 著

帝都の街を四通八達する電車鐵道會社は、其規模が却々大したものであります。従つて使ふ上居る人員の多きことは驚く許り、事業の擴張に連れて、益々社員を募集採用して居るので、地方の方が東京へ來られて直ぐに職を求むるとせば、此會社の車掌が運轉手になるのが一番で、左程に骨も折れぬ上に給料も割合に宜しい、入る時の試験と申しても至難しい事はない、何でも著者か後に申上げる手續の數々を、能く御承知になつての上になさるが、至極肝腎であります。

▲執るべき職務 同社で採用する者には、事務員、監督、車掌、運轉手、信號

停留車掌などありまして、事務員は會社内務の事務を取扱ふ役で、之れに採用する、  
には、會社の社員で地位の高い者に知己を求め、其人の紹介で入るか又は車掌運轉手  
より順次に昇級するより外はないのです、だが車掌運轉手以下のものは造作もあひ、  
そこで車掌とは電車の後の方で、電車の進退並に車内の保安を掌り、又乗客に切符を  
賣る役です、又運轉手といふのは電車の前の方で、電車を運轉する役で、何れも待遇  
に至つては違ひはない、志願者は其望む方を申出れば宜しい、尤も會社の都合で車掌  
なり、運轉手なりに、命ずることがあります、又信號停留車掌とは、電車道の交叉點  
に立つて、電車の發車、停留を信號する役で、此信號に依つて電車と電車、若くは他  
の物と衝突を避ける事が出来るのであります、以上の役々にして成績の良い方は、段  
々出世して監督となりまた事務員にもなられます、監督といふのは申す迄もなく、車  
掌運轉手を巡視する役で、かふなつたら至つて氣樂なもの、給料も高く取れて、威張る  
ことも出来るのです。

▲試験をなす資格 車掌運轉手をお望みの方は、是非共左の條件を心得置いて  
るして願書を差出さねばなりません、只手續も何に構はず行つた所で、却つて手數損  
になつたり、試験に應じても無益にあることがあります、其うちに他の者に先んじら  
れて、入る事が出来なくなる場合が起こるかも知れませんが、夫れ故此邊は充分に注意し  
て願いたい。

- 一 年齢は滿二十年以上四十年未滿の者に限り、そして現に官公諸會社に在  
職して居る者はいけません、若しも身分や履歴を詐つて入社したる者は、之れを  
發見されると懲戒解雇されるのです。
- 一 身體は車掌は五尺以上で、運轉手は五尺二寸以上でなければいけません。
- 一 身體が健康であつて、皮膚に惡臭なく、言語明哲で視ること聽くこと、完全し  
たるものなること。
- 一 品行が方正で輕罪以上の前科のない者に限りますこと。



一 學力は高等小學を卒業した程度の者なること。  
 一 保證を要しますとして、此保證人たる資格は、成年以上の戸主で、東京市内に一家計を立て居り、身元の確實な者に限り、但し同社の車掌運轉手は、保證人にするには出来ません。  
 一 志願者は自筆の志願書に履歴書と、戸籍謄本並に身元證明書を添へまして、同社の出張所なる青山の事務所に差出すが宜しい。  
 之れ丈の事は能く御承知にならねばいけません、然る上で定め試験日に行くのですして試験は一三五七九といふやうに、毎奇數日に致しますから、其日の早朝行かれるが宜しい。

▲試験志願書 會社に差出すべき志願書の書式は、左の通り認めて差出せばよろしいのであります。

志 願 書

何府何市郡何町何番地  
 何縣何區何村何番地  
 士族平民

何、  
 年月日生  
 右者貴社(車掌運轉手)志願に付御試験の上御採用被下度別紙履歴書戸籍謄本並身元證明書相添へ此段奉願上候也

年月日

右

何、  
 誰 印

東京鐵道株式會社御中

履 歷 書

何府何市郡何町何番地  
何縣何區何村

士族平民

何

年、月、日生誰

學 業

一、何年何月日何々學校ニ入學シ何年何月何日何々卒業

一、全上何年何月ヨリ何年何月迄何々修業

一、全上何々

職 業

一、何年何月何日ヨリ何市何町何々會社ニ於テ何年何月何日迄何々勤務月給又ハ日

給何十錢ヲ受ク

一、全上何々商店勤務又ハ何々

一、全上何々

右之通り相違無之候也

右

明治何年何月何日

何 之 誰 印

身元證明願

何府何市區何町何番地  
何縣何郡何村

士族平民

何

年、月、日生誰

品行方正

- 一、兵役關係 豫備役、後備役、補充兵役、國民兵役
  - 一、犯罪行為ニ因リ罰金以上ノ刑ト宣フ告受ケタルコトナシ
  - 一、家資分散又ハ破産ノ宣告ヲ受ケタルコトナシ
  - 一、身代限リノ處分ヲ受ケタルコトナシ
- 右御證明相成願奉願上候也

明治何年何月何日

何ノ誰

### 何市區町村長何ノ誰殿

▲試験合格後の待遇 合格すると會社處定の契約書を差入れさせ、身元保証金として七圓を入れるのです之れが済めば見習いとなる、見習期間は通例三十日間内外で、此間は出勤中一日金二十五錢の割合で給料を呉れる、そして見習ひ卒業後に渡さ

れるので、若し中途で勤まらぬといつて罷めて仕舞ば、其給金は貰はれぬ都合になるのです、此外保証金中から教習費を差引かれる、見習を終りし者は、直ぐに六等車掌運轉手に任命される。

▲営業時間 同社の勤務時間は、通例午前五時に始まり午後十二時頃に終るのであります、車掌、運轉手は、其總員を五六組に分たれ此の時間内に於いて、早出早歸と遅出遅歸等の順序を定め、輪番交代に勤務するのです、けれども休暇は一月に三回づゝ貰へるのです。

▲等級と給料手當 之れは一等から六等に分たれてあつて、其上に特等があつて、各等級の月手當には左の相違があります。

- 特等 十圓 (監督事務員となる資格を有す)
- 一等 七圓 (同上)
- 二等 五圓 (同上)

三等 三圓(同上)  
 四等 二圓  
 五等 一圓  
 六等 ナ シ (任命當初の等級)

彼様な手当がありません、然らば給料は何うかといふに、毎日の乗車賃収入高の四歩五厘を、各自就業中の運轉哩數に割當て、そして配當して呉れます、若し此月額金十二圓に満たなければ、無缺勤の者に限つて、十二圓又は補給して呉れます。

▲行賞と特別手当 精勤者には、三ヶ月毎に褒賞があります、若しも一ケ年以上精出して勤めた者には、賞牌を授與され、其毎季末に何程かの賞金が貰はれるので、更らに精勤満三ケ年以上に達して、不都合なく退職する者には、金三十圓以上の手当を支給されるのです、夫れ故幸抱が肝腎、入つたなら勉強した者が幸福を得ることを請合ます。

▲貸與品 會社では夏冬各一着づゝの被服と、帽子、外套、雨具を貸して呉れる靴さへ自分で求むれば、夫れで直ぐに仕事が出来る勘定であります。

▲監督事務員に拔擢 車掌連轉手からして、品行方正で、能く職務に忠實なるものは、拔擢して試験の上で監督となり、夫れから事務員に迄昇ることが出来ます、かふなれば似たもの、兎角幸抱が第一であります。以上は其大要で之れ丈御承知なれば結構入社が出来たのです。尙同社には救濟會なるものがあつて是は同社へ入つた者は残らず入會するものであつて、最初入會金と會費と合せて金五十錢を納入し、翌月より金二十錢宛の會費を納めるもので、其方法は各自の疾病負傷其他止むを得ぬ事情に就いて救濟の途が夫々構しられてあります。

内外汽船乗込員 (周旋所は東京横濱等にあり)

戦争といふものは思ひの外人氣を引立せるもので、殊に旅順海戦に續いて今回の海戦

などは、お話しにもならぬ程の敵艦隊の敗北には、呆れて物も申されません、夫れに付けても日本の將來は全く海軍です、海の事業は奨励しなければなりません、處で大勝利は一層皆さんのような、血氣壯りの方々に勇氣を起させまして、どなたも海軍になりたい、海の人になりたいとの精神を奮起させたも無理はないのです、いやさお望みの程は結構で、是非かふありたいものであります、聞けば貴方も船に乗込んで萬里の波濤を越えて見たいとな、夫れは、嗚々御両親もお喜びでしょう、私も國の爲めに嬉しく存じます、なに船員となる手續を御存じならぬと、左様なれば詳しくお話し致さう、私の話しを能く呑み込みださうらば、何にも心配はいりませぬ、直ぐとお望みが達せられるのです、中には悪い奴があつて、入り口を周旋するなどと偽はり、種々の口實を設けて悪銭を貪り、折角地方から出て來た有爲の青年方を、途方に迷はせる事が度々あるので、若しもそんな悪い手段に引か、らうものなら大變ですよ、これも念の爲めに順序を逐ふて申上げる故、注意して聞いてください。

▲船員の種類と試験 船員の種類と云へば、貨物係、ボーイ(俗に給仕)水夫、火夫、コック(賄方)などで、貨物係は満二十歳以上三十歳以下の者で、體格検査は勿論學科の試験もありません、さりとて餘り至難しくはありません、御安心なすつて試験を受けて見るがよう御座いますよ、又ボーイは満十六歳以上二十五歳以下で、作文珠算の四則、讀書の外に英語の會話を試験されるのです、殊にボーイは船客や船員に屬して居るので、會話なりと出來ぬと使の役に立ちません、次に水夫火夫は満十六歳以上二十五歳以下の者で、コックは船員及び船客の賄方を従ふので、年齢は満十六歳以上四十歳以下の者に限り、別に學力試験もボーイと同じようなもの、ホンの表向きで實は此頃致しませんが、唯身體が強壯に志想が堅實で、視聽の完全して居る事が肝腎であります。

▲給料及見習期間 最初は見習生となるので、約そ一ヶ月以上三ヶ月以内です、そして見習中は三圓より六圓迄の手當を貰はれ、見習が終ると左の如く本給が取れま

す。

- 一 貨物係は七圓以上十八圓の月給で、當人の成績がよければ、社員に登用して呉れる、かふなると月給六七十圓迄取れるのです。
  - 二 ポーイも七圓より二十圓位迄で、司厨長に昇進めば月給五十圓も取れます。
  - 三 水夫は七圓から二十四五圓迄で、熟練すれば運轉士に昇進み、月給百圓迄取れます。
  - 四 火夫も同様で、機關士に昇進めば矢張り月給百圓にもなるのです。
  - 五 コックは七圓から二十一二圓位で、慣れた者で大きな船にでも乗込みさいすれば、月三十五圓位迄も取つて居るのです。
- だが、若し外國航路の船舶ならば、例の月増金なるものがあつて、給料の外に金が貰はれる、食料は正員でも見習でも、總て船主が負擔して呉れる故、早く云へば貰つた給料丈は、残らず貯蓄る勘定であります、夫れに貨物係には、洋服を與へ、他の者は

自辨で着なければなりません。

▲必要な書類 海員をお望の方は、先づ本籍地の戸籍役場から、戸籍の抄本を貰つて持参するが肝腎です、夫れに志望の方が未成年であるとすれば、前の抄本の外に戸主又は後見人の承諾書を添へる、其承諾書には戸主又は後見人に於て、未成年者の姓名、原籍並に船員となる事をば許した旨、船員となることを許した年月日、戸主又は後見人の本籍地住所を明かに記入して、其上署名捺印をしますので、又貨物係とボーイの志望者は、戸籍抄本の外に受験の爲めに志願書と、履歴書を要します、其書の方は上京してからでも直ぐに分るのです。

前申上げた戸籍抄本と戸主後見人の承諾書は、成るべくは自分の家を出る際に、チャンド調へて來る方が得策で、これが無ければ船員にはなれぬのであります故、此邊は充分心掛けて願ひたい、若し忘れて上京致した時には何うするかと云へば、據ないに依つてかふするのです、周旋所に頼んで戸籍役場へ申請して貰ふ、此際は種々の手數

料やら實費やらを取られる故、なるべくは、前の方法に依るが利益なのです、尙ほ念の爲めに戸主後見人から貰ふ承諾書の書式を、左に紹介致しましょう。

承 諾 書

原 籍 族籍(戸主又ハ何某男或ハ兄弟)

未成年者 氏 名

生 年 月 日

右ハ本人ノ志望ニ依リ海員タルコトヲ承諾ス

右之兄若クハ後見人

年 月 日

現住所

氏 名 ①

▲周旋所 船員乗込周旋所は、東京横濱等に澤山ありまして、毎日種々の新聞にも船員募集とか、乃至は船員周旋取扱などの廣告は、皆さんも能く御覽でしよう、然

し其中には信用の出来るものと、全く詐偽の周旋業とありまして、田舎に居るとかふいふ事情を御承知ない方は、只々新聞に現はれた記事のみを信用し、先方が云ふまへにならうものなら、夫れこそ飛んだ災難に遇ふのであります、此頃は充分に御注意なさつて、詐されぬようするがよろしい、彼等奸物の中には、私は船員になりたいからと申込みば、如何にも親切の如くに見せかけ、夫れでは入れざるやう心配もせず、手敷料をお出しなさい、とかふ挨拶する、此方でも眞に受けて手敷料を拂うと、彼は二三日経つて又お出なさい、口はあるか何うか細かい事を横濱に尋ねて見せると、横濱に、此方でも二三日経つて周旋所に参りますと、彼はさも眞面目に愉快さうに口はあります、就ては私共が保証人とならねば、先方が承知して呉れさせん、見知りませぬ初めの方を保證するのは、容易の譯では御座りませぬ故、規則に依つて保證金を何程納めて呉れろと答へます、これより保證金といふ名で皆さんの金を詐取し、横濱に案内すると云つて一處に行けば、驚くべきものか矢張り詐偽仲間の家に連れ込みまして

何だかんだと理屈を付け、其上に金を取るのです、そして船員に周旋して呉れるかと思へばそうではない、曖昧な下宿屋如き所に宿らせ、持つて居る丈の金を叩いて仕舞ひ、後で何うならうと知らぬ振りをするのです、頼んだ者こそ災難で、金が無くなつてから詐僞に引掛かつた事が分るもの、モ一間に合いません、再び國元に手紙を送り、旅費を送られて歸國するか、左なくば一時の糊口凌ぎに、労働をするような愛目遣ふのです、誠に悪きは彼れ奸物の處業ですが、只徒らに信用して彼れが口車に乗つたのも、餘りと申せば輕粗な譯でありました。

然らば此災難を免かれるには、何うすれば宜しいものかとのお質問もあるに相違ない、これには最初より確かな周旋業を撰ぶより外は、他に途はありますまい、何んな所が確かは東京に住まつて居て、東京の事情を御承知なれば兎も角、田舎に居る方や初めて東京に來た許りでは、到底彼等の内幕は分りませぬ、夫れ故周旋所に尋ねて行き、周旋料以外に保證金とか何だとか云つて、無暗に金の請求をする所は、結局怪しいも

のと認なければなりません、現に東京では日本橋區南茅場町五十六番地に千歳屋、深川區伊澤町四番地に吉見商會、淺草區福井町一丁目二十番地に偉業社、横濱には住吉町五丁目五十九番地に船員周旋會、同花咲町四丁目五十四番地に海員取扱共同事務所などといふ周旋所があり、此外種々の名を以て、船員の周旋を業とする者もありますが、何れにせよ周旋手数料は五六十錢を普通とし、一圓以上を越えぬのです、他に横濱に行く丈の費用と、乗込の際に要する費用位で、三四圓もあれば澤山でしょう、然るをイヤ寄宿費が要るとか、乗込の際に諸品の必要購入費が要るなどと云つて、豫め請求する周旋所ありとすれば、夫れは先づ詐僞に近きものと申して差支ないのです。

▲海員接濟會 船員雇入先は、横濱では郵船會社の船で、同社は皆な一航海毎に船員を募ります、夫れは皆横濱の海員接濟會といふ所に頼んで、期定の人員を取るの

で、東京の周旋所は此接濟會に相談して、入れて貰ふ都合です、かゝいふ譯故接濟會が船員を雇用しなければ、自然周旋所も世話をする事に參らぬ、中には悪い周旋所



と見れば、同會の方は一切其所の申込を拒絶して仕舞ます、夫れを知らずに奸物の手に頼んだならば、何日経つても定まらずに、手数料や何かを無意味に取られるような、馬鹿を見る事になりますのであります。

▲周旋所と共謀の詐偽 恐ろしいではありませんか、周旋所と共謀して、朴質な有爲の青年を詐はつて、持つてる金を取る奸物があります、若しも迂つかりして彼等が云ふ儘に任せると、横濱などには奸物互に意を合せて、こ奴金を持つて居るな、詐せるなど見届ければ、肝腎の船員に周旋せないで飛んだ所に案内し、取れる丈搾り抜いて後は、姿を匿くして仕舞うといふ風で、折角大志望を抱いてはるく遠き都に來た者が、豫想外な災難に遇ふて、遂に失望落膽することがあります、誠に同胞を苦める悪い奴とは申しながら、彼等は巧みに法律の網をくいつて居る故、尋常手段では罰する事も出来ません、渡した金を返へせ、損害を拂へなどと掛合ふても取れる筈はない、詰り此方が損になるのです、して見れば皆さんは周旋所に頼む時より、横濱は

行きて船に乗り込むには、寸刻も安心してはなりません、怪しいと見れば胸に落ちる迄、狼々の金を手渡してはいけません、此邊を特に御注意致しておきます。

### 二 視聽巡査看守

(芝區愛宕町 芝區警察署)

近頃大分巡査看守が不足して居ります、そこで其筋では現に募集して居る、殊に巡査の方は何時でも志願すれば、試験の上で採用するとうです、お望みの方は左の規則を能く心得て願ひ出るが宜しい、試験も餘りむづかしい事はありません故、及落に掛らぬやうに見るが何よりです。

▲無試験採用者 普通に試験を致しますが、若し左の資格を有つて居る者は、無試験で巡査となる事が出来ます。

- 一 會で判任官以上の職を奉じた者及び文官任用令第三條に依りて、判任文官たる資格を有つて居る者

- 二 巡査精勤證書を有つて居る者
  - 三 以前巡査の職を奉じ、退職後満三年を過ぎない者
  - 四 陸軍兵卒で現役満期となつた者か、又は戦時召集を解かれて、下士適任證書を有つて居る者等です
- ▲志願者資格 巡査を志願する者は、品行が方正で年齢二十一年以上四十五歳未満、徴兵に相當せずして、左の諸項に抵触しない者なることが必要です。
- 一 重罪の刑又は重禁錮の刑に處せられ、若しくは同上の刑に處せらるべき罪を犯して、單に監視に附せられた者、及び輕禁錮の刑に處せられ、満期後五年を過ぎぬ者
  - 二 賭博犯處分規則に依つて、懲罰に處せられた者
  - 三 巡査懲罰例又は官吏懲罰例に依つて免職され、若しくは故なく巡査を辭職して二年を過ぎない者
  - 四 身分不相當な負債のある者、又は家資分散者の宣告を受け、未だに負債を拂はず、

- 復権を得ない者、又は従前の身代限の處分を受けて、未だ辨償の義務を終へない者
  - 五 酒癖ある者、又は暴行の癖ある者等です
- ▲試験科目 左の通りですが、前申した通り左程にむづかしい事はありません、神田邊の書店に行けば、巡査看守試験問題答案などといふ書物が、僅かに二十錢足りずで買へます故、これを買ふて讀むがよい、ほんの概略を記憶しておけば、及第致します。
- 一 刑法、刑事訴訟法、警察法規の概要
  - 二 本邦歴史及び地理の大略
  - 三 假名交りの論文及び普通往復文
  - 四 算術加減乗除
  - 五 階書行書
- 右の試験は巡査教習所(芝警察)で行ひます、此際は警部二名以上立合の上、巡査教習所

長が試験致すのです。

▲試験日 體格検査は毎週月、木の兩日にありて、技藝の試験は、検査の日か若くは翌日に致します。別に検査日の通知は来ませんから、自分が月曜と木曜日を忘れぬやうにして、當日の午前八時迄に試験場に出頭せんければなりません。そこで體格に合格した者は、直ぐに其旨を申渡され、次いで技藝の試験を致す順序で、筆墨其他の携帶品は、一切持のて行々に及びませぬ。

▲合格者 試験に合格すると、教習所から通知が端書で参ります、すると指定の期日に出席して二ヶ月間教習所に入つて事務を教習される。此間は月八圓の手當を受けらるるので、尤も一度巡査を奉職した事ある者は、強ち右の方法を取らずに済みます。卒業後は所屬警察署を定められ、始めて本官となつて奉職する譯であります。

▲俸給 新たに採用された巡査は、先づ三給俸され、其陸軍現役満期の下士、及び巡査補給證書を有つて居る者は、直ぐに二給俸を給することになります、但し以上の

下士で士官適任證書を有つて居れば、特に一級俸を給されることもあるのです。

▲願書書式 巡査出願の際に差出す願書と、履歷書との書式は、左の通りに認めれば宜しう御座ります。

### 巡査志願書

私儀巡査志願ニ付御試験相受度御採用ノ上ハ身上ニ關スル一切ノ件ハ身元保證人ニ於テ引受ケ可申若シ保證人死亡轉住其他ノ事故ニ依リ變更ノ必要相生シ候節ハ更ニ相當ノ者相立可申別紙履歷書相添へ保證人連署此段奉願候也

原籍 府郡村 縣市町 字番地戸主又ハ何某二男弟等  
寄留 府郡村 縣市町 字番地

姓 名 印

年 月 日

府郡村 縣市町 字番地

年 月 日

肩書志願人ニ同シ職業  
保證人

姓

名

生年月日

警視總監

殿

履歷書

姓

名

辭令年月日

辭令全文

何年何月何日

何々ヲ命ズ 何級俸給與

同

何々勤務ヲ命ズ 官銜會社名

同

依願何々ヲ免ズ 何會

同

何掛ヲ命ズ 月俸何圓給與 何會社所

同

賞罰

同

何々ノ蒙テ以テ賞金下賜 何會

以下做之

(但陸海軍兵役に關する履歴は、普通履歴の最終に記すべし)

又は

是迄奉職セシ事更ニ無之候也

姓

名

身元證明書

府郡村字番地戸主又ハ何某次男弟等

姓

名

家賃分取又ハ身代取リ 無 家賃分取ノ宣付ヲ受ケテ若シハ賃權ヲ得ルカ否又ハ從前身代取  
ハ身代取リノ處分ヲ受ケテ若シハ義務ノ辨償ヲ終シカ否又ハ從前分取ノ可シ

兵 役 國民軍又ハ現役歸休、豫備、後備等其他詳細ニ

右證明候也

年 月 日

府縣郡市區町村長 氏

名

其次には看守の事です、志願書の資格や何かは巡査の場合と少しも違ひません、依つ

違ふ所を申上げせしむ。願書は警視總監宛で、募集する監獄署に差出す。看守は

▲看守の願書と試験 願書は警視總監宛で、募集する監獄署に差出す。看守は  
巡査と違つて、常に試験はありませぬ、募集する時は新聞に廣告しますから、能く注  
意して見るがよろしい。現に市ヶ谷監獄で募集して居れば、此機を外さず願出なさい、  
學術試験は左の諸科目ですが、これども極平易なものです。

- 一 刑法、刑事訴訟法、裁判所構成法、監獄則、監獄則施行法細則の概要
- 二 普通往復文及び申告書
- 三 加減乗除
- 四 楷書行書

等で、これも矢張り概略を読んで居れば、合格するのです。

▲合格者 新たに採用される看守は、三ヶ月以上必要な學科と實務を教はる、若し  
監視以上の監獄官であつたとの經歷あるか、左なくば學術の素養ある者には、教習の

期間を短かくし、時には教習の一部若しくは全部をせんで、直ぐに本官に差遣し仕舞ふ  
ともあります。

▲教習科目 教習科目は左の通りであります。

- 一 監獄則及び監獄則施行細則
- 二 看守及び監獄備人分掌例
- 三 刑法及び刑事訴訟法の概要
- 四 官吏服務規律の概要
- 五 監獄に關する諸法規概要
- 六 戒護檢束の心得
- 七 在監人所遇の心得
- 八 在監人行狀 勘査の心得
- 九 作業に關する心得

十 監獄衛生に關する事項並に患者取扱方心得

十一 記帳及び諸報告の心得

十二 姿正禮式服装其他規律心得

十三 實習

等です、これは入つてからのことであれば、詳しく申上げませぬ。

▲**巡查看守給料** 給料は一級が十五圓、二級が十四圓、三級が十三圓、四級十二圓、五級十一圓、六級十圓、七級九圓で、部長になると六級十五圓、五級十六圓、四級十八圓、三級二十圓、二級二十二圓、一級二十五圓を貰はれる規則です。

### 赤十字社臨時看護人見習 (麹町區飯田町四丁目)

赤十字社では臨時看護人見習を募集しますが、これは申す迄もありません、今回の戦地に赤十字社醫員看護人を派遣させまして、敵味方を問はず傷病兵士を救護する爲め

で、現に出征各軍兵站監部附となり、多くの救護班が出来て居ります、然し今後更に救護班を増したり、看護人中で傷病者となつて歸朝した者に代はる爲め、赤十字社は標題の人員を募集する譯ですから、此際軍人にもなれぬ人は、看護人なりと志願して出征しては何うです、いやさお望みの方が澤山あるので、募集の度毎に互に競争する有様であれば、其邊を豫め御承知の上で一番先に願書を出すのが肝心です、夫れに付ては手續の事を御紹介致さうと思ひます。

▲**詮衡採用** 何ういふ方が詮衡の上で、臨時看護人見習に採用されるかと申しますれば、同社の規則にはかゝ掲げてあります。

- 一 曾て本社の看護人を致した者
- 二 現に官公私立病院に居つて一ヶ年以上看護人の職に従いた者
- 三 看護學を修業した證書を所持して、實地看護の経験ある者
- 四 曾つて陸海軍看護人看病人であつた者

右に當る者は俗に試験をせんで、單に身體検査へ通れば採用して呉れます、夫れならば少しも看護の事に経験ない方は、許さぬのかどうかの御質問もありましよう、宜しいお答致します、今日の如き多事の際でありますから、成るべく右の方法を取つたので、詮衡の上の採用する志願者がなければ、勢ひ無経験の人を試験の上を採用し、そして暫らくの間は赤十字社で學術と實地の教習を受け、然る後に看護人に昇せて呉れるのです、私の知人で既に四五人もなつて居るのが何よりの證據、及落は時の運なれば、臆せず屈せず願書を出して見るが何よりであります。

▲練習と給料 臨時看護人に採用されると、一ヶ月以上學術實地を練習した上で、成績がよければ臨時看護人に採用する、そして見習中は手當と致して、一ヶ月金十五圓を與へられ、これで食費其他一切の費用を支辨させます、尤も練習の際に着ける帽子や制服は、無論本社で貸して呉れます、又見習中は、赤十字社が指定された都合に就かせる故、自分の住宅若くは思ふ下宿屋に住まつて、其處から通勤といふ譯には参りませぬ。

▲旅費の額 臨時看護人見習に出願して、採用された者が郷里から上京するには、此旅費は自身が拂ふかと云へば、いや赤十字社の方で支給するのです、念の爲めに其額を申し上げましよう。

一 汽車	賃	一哩に付	金 參 錢
二 船	賃	一哩に付	金 參 錢
三 車馬	賃	一哩に付	金 拾 參 錢
四 旅行日當		一日	金 壹 圓

右の旅費は見習人が練習の爲めに、他に旅行する際でも、同じく貰はれるものと御承知をお願いいたします。

▲願書履歴書 臨時看護人見習願書と履歴書の書式は、左の通りであれば間違はぬやう致して、募集の際に二つを一纏めに本社に届けるのです。

願書 (用紙半紙野紙又ハ白紙)

某 儀

貴社臨時看護人見習志願ニ付御採用相成度別紙履歷書戸籍謄本相添へ此段相願候也

明治何年何月何日

本籍 何府(縣)何郡(區)(市)町(村)番地

現住所 何府(縣)何郡(區)(市)何町(村)番地

位 勲氏 名 團

日本赤十字社長伯爵松方正義殿

履 歷 書 (同上)

一、何年何月何日某學校ニ入校何月何日同校卒業

一、何年何月何日ヨリ何年何月何日迄何學校ニ於テ何學研究

一、何年何月何日ヨリ何年何月何日マデ何學校(何々)ニ於テ何々専修

一、何年何月何日任陸軍歩兵軍曹(陸軍何等看護長)(陸軍何等計手)(陸軍歩兵伍長)

(海軍何等看護手)(海軍何等筆記)

一、何年何月何日滿期除隊

一、何年何月何々ニ依リ非休職ヲ命ス何省(何々)ヲ免セラル

一、何年何月何日叙正(從)何位

一、何年何月何日叙勳何等授瑞寶(旭日)章

一、何年何月何日何々ニ付金何百圓下賜

一、何年何月何日何々ノ廉ニ依リ俸給何分ノ一減俸

一、常備兵役後備兵役補充兵役ニ關係ナシ

一、救護員採用規則第三條第一第二ノ事項ニ關係ナシ

右ノ通相違無之候也

何府(縣)士族(平民)



▲看護人の俸給 前の見習が済むと、今度は臨時看護人といふ名が付きます、そのうなれば給料も増されるし、其外に昇給の途がついて居るのです、今夫れ〜分けて御話致しますよう。

一 臨時看護人本俸は甲が二十圓、乙が十八圓

二 同上増俸が本俸の三分の一

そこで増俸はかゝいふ場合に呉れます、第一戦地又は臨戦合圍地境に派遣した者で、該地に入つた日から該地を去つた日、若くは戒嚴解除の日まで、第二臨戦合圍地境に在る者は、戒嚴を解かれた日まで、第三に外國に派遣する者は、内地の港灣を出發した日から、内地港灣に歸着上陸した日まで、第四に病院船乗込の者は、病院船乗込の日から退船の日まで、支給するのであります。

三 臨時看護人特別加俸は甲が三圓六十錢、乙が三圓七十錢、丙が一圓八十錢

この特別加俸は、一戦役若くは一事變中に、左の區別に依りて支給します、第一甲額は乙額支給した翌日から、二百日以上を経過したもの、第二は乙額は丙額支給の翌日から、百五十日以上を経過したもの、第三丙額は召集地に參着の翌日から、百日以上を経過した者等で、以上の者が戦地、臨戦合圍地境、外國に派遣する者及び病院船に乗込む時には、派遣手當として本俸一ヶ月分を支給する譯です、して見れば給料もよし名譽の職でもあれば、此際志願するが結構であります。

### 日本製靴株式會社

(府下北豐島 郡南千住町)

今度の大戰争で、第一番に軍隊の御用を勤めたのは、申す迄もなく元の櫻組即ち此製靴會社です、夫れが爲めに忙がしい事と云つたら非常なもので、日々働いて居る工夫の数は、何千人に及んでるのです、處が夫れでも尙ほ不足で、折々新聞若くは湯屋、

路傍廣告を致して、募集して居ります、何も貴方等のように職に困るには及びますまい、かふいふよい口に入つて、一生懸命に働いたら金も澤山残りましょう、其上で又何うとも方針を定めるが上分別ではありませぬか、若し其邊が能くお分りになつて、一つ入つて見ようとの決心が付いたら、これから其手續を詳しくお話を申しませう。

▲年齢と給料 年齢は十六歳四十歳迄で、給料は見習中は十五銭から廿銭で、本職工になれば三十銭以上を呉れます、そして一ヶ月毎に三銭乃至五銭位給料を増される、ソナナ譯ですから日給一圓も取る人は澤山あり、中には三圓の日給取りもあり、然し多く取る人は給料よりかは何足請負と云ふて、定めて多くの靴製造を請負ひます、かふなると一生懸命で、何れも働いた丈自分の利益になる事故、少しも遊ばず働くのです、先づ職工社會で不景氣の風を知らぬとは、此會社の職工などを云ふのでしよう。

### ▲誓約及積立

入る際には、五箇年間勤続するといふことを、誓はなければなら

ぬ、然し如何に誓つたとして病氣や何かの場合には元より已むを得ん話ですが、兎も角表面はそうするので、入つた後は給料の一分を積立金として差引かれる、最も會社が本人の爲を思ふてするのだによつて、病氣又は退社の際には、相當の利足を付けて右の積立金を拂渡して呉れます。

### ▲志願手續

此會社の職工を志願するには、別にひつかしい手續は要りませぬ、

が志願は口頭で、只戸籍謄本と身元證明書が必要で、夫れに未成年者であれば、父母後見人が職工となることを、承認した證據書類を持つて来る、そうせんと會社では許しませんが、そこで表面向に募集を廣告した際には兎もあれ、そうでない時には、成るべく工場内に勤めて居る社員なり職工なりに知己を求め、其人に口を聞いて貰つて入るがよい、これが何より早く定まる策なのです尙は會社に差出す身元證明書は、左の通りなものであります。

證明願

原籍 何府縣何郡何市町村番地

戸主平民或ハ士族其何男又ハ何女

何之誰

生年月日

- 一 重罪輕罪ヲ犯シタルコトナシ
- 一 家資分散並ニ身代限リノ處分ヲ受ケタルコトナシ
- 一 兵役ニ關係ナシ

右日本製靴株式會社生徒志願ニ付キ必要有之候間前記御證明被下度此段願上候也

年月日

何之誰 印

町村長 殿

かふいふものを書いて、自分が原籍の役場なる、戸籍吏に證明して貰ふ、これを持つ

て會社に納める、戸籍謄本の方も役場に、願書に十錢の收入印紙を貼つて願ひ出れば、役場では送つて呉れます、別段田舎から上京する者は、是等の面倒がないように、豫め役場より右の書類を取つて、持参すれば無益な手数も省ける譯です。

千住製絨所

(府下北豊島郡南千住町)

本所は陸軍省の經營されて居る所で、戦争の今日澤山の職工を使つてます、當分は何程でも缺員はあり、且永く辛棒して手に職を覚えようと思ふ方は、進んで入るがよう御座います、貴方は其辛棒をします積りか、左様なれば其手續をお話申す故、直ぐにも入らるゝ方が利益です。

▲志願者心得 志願するには先づ、何時頃募集するかを知るのが必要です、夫れには官報若くは同所の揭示場に廣告されるので、其際には直ぐに行つて志願書式を寫し取り、改めて受附に差出すのです、尤も平日缺員を補ふ時には所内の職工に知已を

求め、其仁の紹介で入れば容易いのです、さて最初同所に尋ねて行くと、門衛が居ます故、其者に志願したい旨を話すと、門衛は懇ろに事務所に行つて見ると教へて呉れる、そこで事務所に志願の由を告げて詳細の事を問合せなさい。

▲採用者 採用するか否やは體格検査の上で、一昨年頃迄は却々むつかしくあつたが、昨今は人員の足りぬ折柄、少し位不満足な所があつても取つて呉れる、是迄経験のある者なれば、何も文句は無いのです、採用された上は國許より身元證明書、戸籍抄本を取り寄せ之を出す、書式は前申したのと違ひなければ、夫れに倣ふがよふ御座います。

▲給料 給料ですか、最初は日給二十八錢だが、辛棒おしなさい一ヶ月過ぎると三十三錢になります、又成績に依つては月二十圓には大丈夫になります、支拂日は何處の工場でも多くは月末なのに、同所は職工の便宜を計らつて、月十二日と二十七日の二度に渡して呉れるのです、夫れに保證金は取りませぬ代りに、保證人さへあれば入

れることになつて居る、マ一同所の職工にでも雇はれれば、妻子を無事に暮らさせるのは、差支ないかと思はるのです、又夫婦共稼ぎをしようとするれば、其近所に櫻組毛皮部で女向の仕事もあり、現に女工を募つて居れば、此邊も充分便宜にならうと存する譯です。

### 鐘ヶ淵紡績會社

(府下南葛飾郡 隅田村)

貴方は鐘ヶ淵紡績會社の、職工がお望みだと仰しやるのですか、宜しう御座います、入るべき手續と内部の有様とを詳しくお話し申しましう、だが今日行つて明日入ると云ふ譯には参りませぬ故、豫め私の申上げる手續を御承知の上で、願書を差出しておきが肝腎ですぞ。

▲届ける書類 別に之れといふものも要りませぬ、會社が特別に出張して職工を募る外は、先づ東京に懇意な者で會社に關係ある社員、左なくば職工を尋ね、其仁の

紹介で話して貰ふのです、これ迄は周旋屋の手で募集致しましたが、いろ／＼弊害も  
ある所から、廢して残らず職工仲間の紹介者を取ることにしたさうです、さすれば出  
来る限りは紹介人を求め、若し無ければ直接行つて係の者に事情を物語り、入れて貰  
ふ方がよいのです、願書の書式は別に無い、只自分の原籍住所年齢位は書いたものを  
持参して、差出さぬと會社の方で忘れて仕舞ひます。

▲**戸籍抄本** いざ入つても宜しいとなれば、戸籍抄本と身元證明書との二つが要  
ります、依つて國元より出て来る時には、必ず此二つを用意して來なければいけま  
せん、東京に着いた後に、國元役場に請求するなどとあつては、夫れがために時日を  
費やします、尤も入る際には保證書を入れるので、保證人には前の紹介して呉れた職  
工がなる、若し紹介人が無ければ、他に身元確かな者を立てなければなりません。

▲**年齢と給金** 男は二十歳以上四十歳以下で、女は十六歳以上三十歳以下の者に  
限ります、入りたては日給二十四五錢から三十錢で、段々上手になれば昇給する、特

に女工は講習生として、最初二十日若くは一ヶ月間講習をさせ、然る後に普通の職工  
と致します、講習中は日給十四五錢宛を呉れる、だが入る際には五箇年勤めるといふ  
ことを、誓約せなければなりません。

▲**寄宿舎** 會社内には寄宿舎を設けまして、女工に限り茲に入れます、労働時間が済  
めば女工は、禮式、裁縫などの學科を教へ、兼ねては男女工を集めまして、佛教又は  
基督教の説教をして聞かせる、職工中に病人があれば、樂山堂病院の醫師を頼んで懇  
ろに診察治療を施して呉れるので、職工の爲めには彼れ是れと待遇がよい譯です。

▲**消費組合** 消費組合と申しては、一寸分り兼ねましようが、實はかふいふ便宜  
があります、職工が日々入用の品は、最も安價に其處へ行つて求められる、夫れはく  
外で買ふよりかも餘程安いのです、尙ほ共濟會と申すものもありまして、職工仲間が  
お互に災難に罹りた時に、助け合ふ方法を定めてあるのです。

# 古河鑛業會社本所鎔銅所

(本所區 柳原町區)

此處は餘り職工の缺員は生じない方ですが、今回の戦争の爲に常に多くの缺員を生じ、募集又々募集と云ふ有様でありますから、此處に志願する者には好ま機會であります、由て今種々御紹介申しませう。

▲志願者の手續 さて此處に志願するには別に六かしいことはありませぬ、募集の時を俟つて自身監察方へ申出ると、其處には係員が在つて、保證人がありますかと云ふから、保證人は誰々でありますと對へると、先方でそれを書き留め、今日から仕事をやりますかと言ふ位造作がありません、だから志願者は最初保證人を定めて行く方が簡便であります。

▲給料と拂渡日 最初は日給三十五錢であります、景通十時間で其上時間の割増があります故、大抵は三十八錢になります、そして其支給日は月末ですが、本所の

事務都合上廿八日を以て計算を致します、これは餘計の話の様だが實肝心要めの所です。

▲勤務及待遇 勤務は晝夜交代で、只今の所は一週間代りになつてゐます、別に劇しい務と云ふ譯ではありません、そして昇給の途も行届たもので、追々一圓以上に昇給します、別に一箇月又は一箇年の皆勤者にはその給料の一二割を賞與として貰へるし、勤務中負傷すれば夫れ一醫藥の手當もあり、それに毎日沐浴してその日の汚を落し、清潔サツパリして歸へれます。

▲生活方 本所の附近は比較的家賃などは低廉い方ですから、此處に勤める者は大概此近所に居住しています、又獨身の者は職工向の下宿屋があつて、六圓乃至六圓五十錢位で結構暮される、堅くすれば四圓位は確に貯蓄が出来、萬一是迄鎔銅工、伸銅工、機關工などをやつて居た者は、其伎倆に依て初めより四五十錢位は貰はれる勘定なのです、兎も角此際に入る可き好時期で、待遇もよければ會社も確かであれば、永く辛棒しようと思ふなれば、此工場などは宜い方あります。

## 砲兵工廠 (小石川町區)

此度の日露戦争に連れて、砲兵工廠の事業が層一層擴張されて、又特に急を要するもののあるの結果と致して、職工仲間の視線は一樣此處に向つたのです、折柄千五百餘人の募集あることが廣がると、倏忽にその員數に満ちた、又募集があればよいと、耳を聳て、眼を圓にしてそを待ち構へてゐるといふ有様だが、其志願者が萬にも達する位であるに、採用する員數は千五百人と定つて居り、八九千人からの志望者が出來た譯です、而し一樣には言へぬが、多くは内部の情狀を知らぬからもある、それはモ一過ぎ去つたことだが、今後其内部の情狀を知ると知らぬとは大變な損得があります、と言ふものは、此處は志願書を差出すの先後遅い速いばかりではない、重に内部の職工以上に良き知縁があると、好都合の様で、爲に是から先き志願する者の心得として、委細御紹介すること、しましう。

▲採用の機會 は今後あるまいかと言ふに、堅く言ひば官邊附の職工であるから、表面募集廣告があつてからでなくてはいかぬ、その募集の時機に至るをお待ちなさい、だが強がちなさうとも限らぬのです、何せ平時でさへ男女合せて一萬二千近くも居ることだから、何時缺員がないとも限るまい、現に先頃のやうな俄然雷室爆發して、百餘名も死傷者を出すと云ふこともあるから、然しそれ等の不祥をお待ちなさいと云ふ譯ではなし、兎も角入る者も多い替りに常時罷る者も絶へない、夫れ故少々の缺員は何時でもあると思ふても差支へもなく、特に内部の職工の重立てる者に懸意があるか、又は段々懸意を辿つて頼み入るなれば、これに越した方便はなく、表面突なり志願書を出すよりも、成否の結果が直ぐ分る、それにもう一つは人夫となつて三十二三錢の日拂を貰ふて、内部の事情を探り、夫れく懸意の人を出來て、申込人と言ふ名稱になつて貰ひ、志願書を直接に差出して置くことも出來ぬではない、人夫と言ふと中には思やがる者もあらうが、或點に行く仕事の上に職工と人夫と些の變りはありませ

ん、寧ろ人夫の方が骨が折んでよいといふ方の仕事もある、だから眞に職工とならうと思ふなら、先づ人夫となつて廠内の事情を知り、知己を求めてからもよからう、要するに入職を志願する機會は幾らでもあります。

▲入職志願の手續 此廠に志願するには、先づ入職志願書と云ふものを差出すのですが、これは故ら自分で書なくともよい、チャンと書式を印刷したものが出來てゐて、最寄の鹽煎餅屋或は大福餅を商ふてゐる家にある筈です、二錢を出して其れを買ひ、その書式の尾に、市内在住の戸主の保證一名、それから市内現住者ならば、居住地の差配若くは家主の連署を要するのです、其志願書を砲兵工廠の門前投入函に入れて置くと、應て出頭せよとの通知がある、其際出頭して體格検査を受け、其上で合格なれば初めて職工となれるのです。

▲給料と支拂日 給料は夫れ一職に覺へのある者と、無い者とは差異はありませぬ、有職者は最初が三十五錢位で、夫れに増給の内規があつて、毎年二回づつ二錢乃

至四錢づつ、給料を増すのだが、日給五十錢以上の職工には、五錢以上を増給するとなつてゐる、職の無い者は素人として取るので、日給二十六錢、それに時間の割増があるから、三十六錢より四十二三錢にはなる、其れに又請負仕事でもやるやうなれば、仕事の出來高に由て収益があります、假令素人でも少くも三十圓中には五十圓百圓などを一勘定に受取る者もある、其次は、給料の支拂日であるが、此處は毎月十三日から十五日迄と、二十七日から三十日迄との二つに區別し、そして十五日後れて渡す、例へば三月一日より勤めた者は其月の三十日になつて、初て三月十五日迄の日給しか取れない、十五日より三十日迄の分は四月の十五日になつて請求し得る勘定で、其日暮しの職工には甚だ不便極りないが、辛抱さへすれば、直ぐに生活も滑かになることであらば、末々の見込があると思ふたら、何ひでも日雇根性と、腰掛習癖をば矯めなければなりません、果して左うなれば、當廠あたりは尤も有望の職工と申してよい譯です。



▲勤務時間と休日

▲勤務時間と休日 當節人々の先づ聴くのは、給料高と勤務の時間であります、左うです、時は金と相場が極つてゐる今日、勤務の時間を聴いてかゝるのは用心深いことです、處で當廠の職工は何うであるかと言ふに時には變更もありませんが、普通午

▲職工の階級

▲職工の階級 前にも一寸申上りました通りに、初めて入つた者は俗に臨時職工で、約半月餘りも見習をする、そこで三ヶ月から半歳以上も勤務すると、始めて普通職工

と云ふ、肩書が付きます、然しこれでは巾が利きません、更らに三年乃至五年も勤めて、體格伎倆がよければ、今度は定期職工となります、少なくとも日給五六十錢以上は取れます、處が一種特別の職工があつて、これは同廠の技手を養成するのが目的で、試験の上を採用する、合格した者は一日三時間づゝ學科を修め、其餘暇は各工場に行つて實地を研究します、かゝつて規定の試験に合格すれば、技手の資格を取つて稍々高尚な職に就かれる、だがなりたては日給五六十位なもの、其人の伎倆で段々に増給致します。

▲救濟法

▲救濟法 流石は官設でありまして、職工の救濟法は却々完全して居ります、若し職工が就職 中往々機械などに觸れて、負傷をすることもあり、甚だしきは一命を失ふこともあります、此の際は定まりた救濟法に依りて軽い病人は自宅治療をさせ、重い者は陸軍の衛戍病院に入院させ、總て官の費用で癒して呉れ、又死んだ場合には、遺族に對して葬式其他の費用を給して呉れるのです、然しこれは表面向で又工場の職工

全部よりは、言はゞ香典として幾分の金を集め、これを遺族に送つてやる、成程一人前は僅か一錢乃至二錢とせよ、何にせ多数な職工の事であれば、少なくとも千圓内外の金が出来る譯で、かふして同誼を全ふして居るのです。此外内部の事に付ては、お話しも澤山ありますが、入るには直接必要もなければ、先づこれ丈でやめておきましょう。

### 男雇人口入業 (重なる場所所は日本橋區新芳町)

市中に男の雇人口入業と云へば、夫れは夫れは澤山あるが、然し一番確實で多くの雇人を取扱ふ所は、日本橋新芳町千東屋、大黒屋、藤屋、大坂屋の四軒であります、何でも市中の望む所に入らうと思はゞ、早速以上申上げた口入業にやりつけて、頼んで見るのに限りません、只口入業であれば何處でも心配して呉れるものと早飲込み、若くは新聞などを無暗矢鱈に信用すると、飛んだ詐偽に引掛りますぞ、此事は後に詳しく申

上げると致し、先づ前の口入業に頼む時の心得より、一々紹介致すこととしましょう。  
▲口入業と本人 先づ自身が前の口入業に行つて、周旋して呉れと頼むのです、そうすると口入業の帳場の者は、貴方は保証人がありますかと質ねる、そこであると答へて其保証人となるべき者の宿所、姓名を語れば先方は帳面に控へ、遅くも三日内に帳場の者が保証人となる者の宿所を尋ねて、果してなるのかならぬのか、保証人は確かな者か何うかを取調べる、偕て頼みに行つた當日は其儘自分の宿に歸りまして、翌日から再び帳場に詰めかける、帳場は毎朝六時より十二時迄立ち、幾十人も詰めて居る望みの方々を衆めて、其面前で聲高々に宿屋の帳付け、飲食店の料理番、お屋敷向の小遣、別荘の番人、商家の手代といふように呼上げる、此際氣に入つた口があれば、直ぐに私が行きますと答へなければなりません、そうするとお望の方には雇ひ先を明細に書いたものを渡すと、本人は此書付を持つて雇ひ先に尋ね行き、そして勤められるか何うかを試みして見る、俗に之を目見えと申しまして、其目見が三日間勤め

上げて、勤められ、ばそこで引續き其主家に働き、勤められともないとするれば、再び口入業者の許に歸つて来て、他によい口を探がして貰ふのです。

### ▲口入業者の規定

口入業者の規定は當てにならぬものはないと云ふ風に一般受取られては居れど、此處ばかりはさうでない、不正を働く奴はダン／＼衰微し、廢業してしまつた、現に残つてゐるのは前記の四軒で、確實でもあり信用もある、ダカラ此處の規定ばかりは決して反古ではない、否彼れ營業者は誇り顔に「新芳町」は獨立團體ですと言つてゐる、其筈でしょう、口を捜すならば「よし町」だと大概口癖になつてゐる位です、さてその規定が物を言ふから世話はない、規定通りの實行とは甚麼様結構の至りと言はねばならぬ、處で手数料は何程取れるかとは直さに胸に浮ぶ問題です、これは無論お目見へ期間が過ぎて、證文を取り極める際に雇給料の總額十分の一以内に於て申受ると云ふ規定で、主人即ち雇主と雇はれ人と双方で差出すのです、(此事は揭示の中にはないが、實際行つてゐる處です) 例へば雇期間六箇月に亘るも

の、手数料は、六箇月分の雇給料の總額その十分の一を申受ることになつてゐる、それに未だ給料額が定まらない者は其所得を一箇月金二圓五十錢以内に見積つて申受るとしてゐる、他は今申上る必要がなからうと思ふ、兎に角口入業者に頼むで雇はれやうと思ふ者は、初に揭示してゐる文句を能く呑み込み、解らなければ帳場の手代に委しく説明をして貰ふがよい、そして充分合點が行つてからさてお頼み申と言ふ方がよからう、しかし他所の口入宿は別です。

### ▲雇人の大々不足

未來永劫は兎も角も、當分は雇人好運の時機で、夫れは、此處の口入業者へ向けて頼み込みで来る雇主側は非常に多いさうで、例令ば雇ふ方が日々百人あるに、雇はれる方は三十人位で、逆も、營業者がお得意様の希望を満す譯には行かず反對にお断りを申してゐる有様であると聞いた、勿論戦争の時局に於て、ヤレ補充、ソレ第一國民と既に多くの壯丁が召集された結果ではあれど、雇人の不足を告げたことは實際聽いてみると想像の外である、此れでは營業が立ち行かま

せんと愁傷氣に咬いたに觀ても如何に雇人の不足を告げて居るか丁得りませう、時局當然の結果です、口入業者は哀れなものです、併しながら雇人とならうには又と得まじき結構な廻り合せと言はねばならぬ、若し更に徴兵に關係なき、無職業者があつて、口に困り居る者があらば、餘所とは言はず、眞づ直ぐ此の芳町に來つて、有らゆるお好の箇所へ行きなさい、雇主の方は頭を垂れ辭を厚ふして待ち受てゐます。

▲千束屋帳場の直話 芳町を知つて千束屋を知らない者はない、若し千束屋を知らなければ、その人や已に芳町通ではない、芳町通でなければ下情に通じたとは云へない、俗に噺せないチーの方である、小理屈は兎も角千束屋は實に四軒中の最も大なるもので、且繁盛を以て人に知られてゐる、試に朝六時頃から同店頭立ちて、其景況を見るならば、宛然人の市をなしたやうでその界限立堆の餘地もないこともあつた、時局の影響を蒙つて、店頭寂びしくなつたとは云へ、まだ〜此處と並ぶ家はな、去年は六千五百二十六人を世話したと言ふから、如何に千束屋の爲に生活上、立

身上安全の方途を得た者があるかを知りませう、そして又雇はれようと思ふ人の確な證據にもなりませう、帳場の人が曰ふのに。

「イヤモウ當年は丸ツきりいけません、戦争は毎時大勝利でお芽出度いことですが、大きな聲では申されませぬが、自分共の營業は大の不景氣で御座ります。

第一本場が出てきませんから、本場とは何處とお仰るツ…成程本場と申しますと、新潟縣越後人ですな、去年は千五百人も世話しました、それに次いで千葉縣、埼玉縣、茨城縣、長野縣などは手前共の縄内ですがな、それがなんです、去年の暮れからかけて漸々減少してしまひまして、トント去年の三分の二位の有様で、モウ此先き戦争の片附く迄は地方から態々稼ぎに、出掛けて來ると云ふ見込みはありませんです。

毎年とは異つて雇主の方が多いのですが肝腎の雇はれようといふ方が少いのですから、妙なこともあつたもの、ですから口がなくてお氣の毒でと言つたものが、サ

アサア何んな口でも幾らもありますばかりじゃやない、御主人の方から来て老人でも仕方がない我慢しようと思つて行く様なのです、中には一時にバタ／＼雇人が減つてしまつて、何うしてもやれない營業があるさうです。

右の話を聞くに付けても、東京に出て稼ぐには此機です、尙ほ同區蠣殻町 出世屋、千草屋、世界屋等の口入業はありますが、何れも前申した千束屋と内部の有様は同じことで、夫れに千草屋と出世屋との二軒は、千束屋に十年餘も手代を致して居た者が、別に暖簾を分けて貰つたので、千束屋同様確實でもあり、日々頼みに行く人も絶えな位な程、繁昌して居りますれば、夫等の店に行つて口を尋る方が便宜な事でしょう。

## 人夫とその箇所

(近頃は至る所に人夫の口があります)

流石東京は大したものです、上下各方向の人を集めて居る丈に、種々雑多の仕事があります、いや此頃は人不足で何處へ行つても雇ふて呉れる、其日暮しに困つた方は、

能く私の話を聞いて働きの口を探して御覽なさい、労働は真正で、世に人夫と曰ふと、自分から賤しいもの、やうに思ふてゐるのが間違つてゐる、自分が賤しく思ふてゐるばかりでなく、慥に世間よりもさう観てゐますが、俱に共に間違つてゐる了簡であります、今人夫の仕事からすれば、夫々頼れて、労働に服するので、その労働に對する報酬を貰ふのであれば、決して賤いと耻づる譯はありませぬ、現に此種の労働者が澤山であり、此れを使ふ向は最も多いのです、その箇所は大抵定つてます、御存知の方は兎も角も、實際知らぬ人には極便宜であらうと思ひまして左に御紹介申すことに致しました。

### ▲砲兵工廠前

職工志願者は砲兵工廠に集り、人夫として稼がふといふ者は大抵同門前に集まります、夫れは實際五六百乃至千人も入れるからです、その景氣は大したもの、朝の混雑はまた一層の見物である、これだけ見て、如何に人夫の使役が多いかを知りえましよう、それが八時頃になれば、悉皆片附いてしまします、夫れは仕事

に有り附いて門内に入る者と、河岸の仕事に志す者や、仕事にならぬ者（これをあふれると云ふ）は散つてしまひます、故に人夫になる者は先づ此處に集つてみるが便宜です。

▲部屋人夫と辨當持 親方の部屋に、屋根代食料を拂つて寄宿する者を部屋人夫と申し、それに自分々々の居所から通つて来る者を、辨當持と申します、部屋人夫と辨當持人夫とは何處に違ひがあるかと言へば、給金には違ひはないが、偶々損得のあることを知り得ることが出来ます。

▲札場と人夫 それなれば、何處に於て違ふかと言ふに、札場に於て分るので、時間は砲兵工廠の職工が退て来る一時間程前から、東西南北より集つて来る人夫は、各々顔を知られてゐる札場に來て、「何うか一枚願ひます」と世辭好く、愛嬌を湛へて頼むと、顔をジロリと視ながら、貰へるもあり、貰へぬのがあります、此れが辨當持人夫に多いので、部屋人夫は到着すると匆々札を渡れる、此處が僅の時間に決するの

で、大に得失の分るゝ所であります、札を手にして、意氣揚々門内に入る者と、あゝと太い、寂しい嘆息しながら姿をかき消す者との分れ目であります。

▲札場と親方株 札場に於ける親方株の威光は、實に侮る可からざるもので、「駄目だッ」と一喝されるれば、其日の仕事は最早絶望である、故に人夫は自然一種異様の阿諛追従が肝要となつてゐる、其外には何の資本、何の苦勞もいらぬ、先づ此關門の呼吸を呑み込みなざるがよろしいです、さて其札と稱するのは、廠内へ入る門鑑で、永田組とか、小林組とか烙印されてゐるのです、その外に勘定の札も渡るが、何れでも一つ遺失すと、例令仕事はしても勘定は取れないから、札を貰つたらば能く注意しなければいけません。

▲法被と給料 當今は札を貰ふと、組々の法被が渡ります、それを自服の上に羽織て門内に入ります、此服装からすれば、部屋人夫と辨當持人夫と同様である、其所で給料は三十二錢ですが、法被損料として一錢引れます故、正味三十二錢を所持して

歸へれます、草鞋一足を二錢五厘乃至三錢で買つて、それが五六日も保ち、三十二錢宛稼げるとは甘い稼ぎ口でありませう。

▲大塚彈藥庫前 此所にも亦人夫を募集して居ります、前お話致したと同じに、朝の五時頃から各方面の人夫が門前に集まりて来る、そうすると世話役が役所の指圖によりて、今日は幾人と定めて人夫を使ふが、中には書生上りもあれば職工のしくじりもあり、あらゆる人種を集めて居ります、けれど其職は労働です故、出来る限りは人夫らしき身装をするがよい、髻を蓄した書生や官吏上りが、生計に困まつて、白のへこ帯などを締め、烏打帽子なんかを冠つて行つた日には、世話役も一寸見て之れは働けぬと鑑定し、多くの人夫中より除いて仕舞ひます、さすれば何處迄も平常人夫として用ゐられる者が、身装りや働き振りを見做ひ、さも人夫らしく見せかけて入り込むのです、日給は一日三十錢で其日限りのものと定め、又明日は明日で新たに使ふか何うかを定める。

▲働くべき仕事 仕事は何んなものかと云ふたら、彈藥庫内の職工其他が仕事の下手傳ひやら、或は物品の持ち運びです、荷車も挽けば物も擔ぐ何にせよ労働者なれば氣骨の折れる心配はなし、やがて午後五時頃には引上げて一々日給を渡して呉れる、處で翌日入用の人夫に採用して貰ればよいが、若しされぬとあれば已むを得ないに依つて、更らに板橋火藥庫前に駆付けける、そうすれば此所でも同様な職があるのです、かくして他によい職の見當る迄辛棒致して居るのも、又本人の利益でありませう、以上述べた如き労働は、市中の至る處にあるので、真底身體の弱い怠惰者でなければ、決して生計に困る氣支はない譯です。

▲陸軍戸山學校前 毎日、此門前に集まる人夫は、何んな労働を致すのであるかと探つたら、陸軍御用の荷繩を製造したり、種々雑多の仕事があります、日給も割合によく四五十錢から七八十錢迄で、時間外に働くと割増が取れるのです、此處は定期の人夫もあり、毎日何人と定めて雇ふ人夫もある、親方株や其他の事は、略ぼ砲

兵工廠の人夫と違て居らねば、強ち詳しくは申上げる迄もないのす、尙ほ手早く労働が出来て、毎日生計を立てられる仕事と云へば、

▲電燈會社 の人夫や日本橋魚川岸、深川木場の材木人足に使はるゝことです、かゝる場所には必らず毎日十八十五人の人夫を使はぬといふ事はないので、尋ねて行けば使つて呉れます、なに始めては少々骨も折れようけれど、二三日も辛棒すれば、直ぐ慣れ子になつて仕舞ふのです、賃錢も三十五錢以下はありませぬ、夫れに電燈會社では、多く夜の仕事があるので、午後の五時頃から會社へ行つて、仕事着物と着換て直に労働に取りかゝるのです、そして早きは十二時遅きは二時頃迄働いて、其場で日給を受取り、宿に歸つて來るといふ鹽梅式になつて居ります、其他は大抵晝の労働で、つい此頃は人夫に不足して居れば、給料も二割方高く、殊に際仕事としては、▲罐詰職工 やら、軍服、シャツの下縫ひ、寫眞繪はがきの工場職工、至る所で労働者を迎へて呉れます、貴方が眞面目に働いて辛棒しなすれば、必らず毎日何

程かの金が蓄まるのです、又其上で何なりと他に儲かる口を探がすのが、貴方の爲めには何より得策な事でしょう。

### 電話交換局 (練馬町區)

鍛茶袴を着けてお役所向に勤むる者を見ると、何人も電話交換局かとかふ首肯でありましよう、婦人には此上もなき適當した仕事で、缺員も又往々あれば入るにも造作もありません、左様試験は勿論ありますが至難しい事はないのです、只肺病とか何とかいふような傳染病の疑ひある方は、體格検査ではねられます、學科の方の試験資格は小學二年位の程度で、募集の際には直接に願書を出してよろしいが、そうでない時は局内に知人を求めて周旋して貰ふが近途です。

▲女子通信事務員 本局は電話交換手の外別に女子通信事務員と云ふ名稱で、女員を採用して居ります、募集期は四月十月の二回と定まつて居りますが、又時とし



て臨時に募集せない事もありません。

▲**志願資格** は、年齢十三年以上で、家事に繁累のない、身体が丈夫で言葉の明晰とした、聴力が完全で品行の好い、身元の確實な者に限り、高等女学校とか、成ひは是と同等以上の學校に二年以上在學した女、又は高等小學校の卒業證書を持つて居る者には、學術試験がありません、何れにせよ。

▲**保證人** の資格は成年以上の男子で、東京市内に居住して、土地とか又は家屋を所有する者とか、逓信省の官吏で市内に居住して居る者に限ります。

▲**試験科目** は、次の通りです。

- 一 讀書 電信電話に関する法規類
- 一 作文 尺牘文
- 一 算術 加減乗除
- 一 筆蹟 楷、行書

▲**業務と給料** 業務は受付調査係、計算係等で、電話加入者から納付する電話料とか、各自働電話から集めた電話料の計算方、調査方、帳簿方等で其給料は、日給二十錢以上五十錢で成績次第では、夫れから段々月額が二十圓位迄に昇給します。

▲**電話交換手** の志願手續は、左迄女子通信員と變りがありませんが、只違ふ處は年齢が十三歳以上二十三歳以下で夫のない、特に言葉の明晰とした、動作が敏捷で品行の方正な、萬事に丁寧親切でなければ採用しては呉れません。

▲**募集期及願書** 皆其時々の必要に応じて年中絶えず募集して居ります、何年何月と敢て豫定はして居ませんから、何んでも此の募集廣告がありましたならば、志願者は次の様な願書と履歴書を出しなさい。

(第一書式用紙中紙)

受 験 願

原籍現住所 華士族平民

右者御局電話交換手志願ニ付試験御執行ノ時御試験ニ相應シ度別紙履歷書相添此段  
願上候也

年 月 日

右

何 某 團

中央電話交換局長工學博士五十嵐秀助殿

(第二書式用紙半紙)

履 歷 書

原籍

現住所

華士族平民戶主某女姉妹

何 某  
生年月日

- 一 明治何年何月某學校卒業
- 一 同 何年何月迄何學修業
- 一 何々
- 一 何々
- 一 婚姻ニ關スル事項
- 一 處刑又ハ身代限ノ處分ヲ受ケタル事ナシ

年 月 日

右

何 某 團

▲採用試験の科目は、讀書(電話電信に關する規則書類)作文(書簡文)筆跡(楷)

書、行書(算術(加減乗除))等ですが、然し時に依つては一二科目を増加することもあり、最も高等小學校三年級を修業した學力がある者には、時と場合で此等の試験を異にする事もあるです。

▲見習生 かくして試験に及第した人、又は規則に合格したものは、本局や各分局に分けられ見習生となるのです、見習生は毎朝其局へ出る、すると交換室には數名の監督技手が詰めて居て、故參の交換手と共に親切に現場に就て教へて呉れます、かう云ふ風で、凡そ三ヶ月も過ぎると、愈々交換手に選拔せらるゝのです。

▲執務時間 は、交換の繁閑で遣り繰りますが、本局では全部の交換手を五組に別け、其五組が又三組宛都合十五組に區別されて、晝は三組、夜は一組、夜勤の明けの番に一組と云ふ工合に配置されてあります、今此等各組の勤務時間を一寸と次に書いて見ませう。

○晝 勤 (六時間)

- 一 午前の八時に出勤して 午後の三時に歸る者
- 二 午前の八時に同 午後の四時に同

○特別勤務 (五時間)

- 三 午前の七時に出勤して 午後の一時に歸る者
- 四 午後の一時に同 午後の六時に同
- 五 午後の三時に同 午後の八時に同

○夜 勤 (八時間)

- 六 午後の三時に出勤して 翌朝の七時に歸る者
- ▲睡眠時間 特に夜勤者の爲めに、次の如く睡眠時間を規定されてあります。
- 一 夜八時に就眠する者は 翌朝四時間を勤務し
- 二 夜九時に同 翌朝三時間を同
- 三 夜十時に同 翌朝二時間を同

四 夜十一時に就眠する者は

翌朝一時間を勤務し

五 夜十二時に同

既に任務を終りし者とす

▲休暇と休息 日曜日と大祭日にあつて、晝の出勤者に當た者の三分の一には、特に休暇を與へます、又執務中一時間毎に、十五分間宛休息する事が許されるです。

▲給料と賞與手當 見習で居る中は日給十錢ですが、交換手となれば十八錢から二十五錢位まで、夫れから段々二錢三錢と昇給して、六ヶ月も経てば二十五錢から三十錢迄、一ケ年も過ぎると最う三十錢以上になります、又別に夜勤と電信係とは、日々五錢宛の加俸があります、年末には十圓内外の賞與金を與れ、のみならず勤勞者には、臨時賞與の獎勵法が設けられてあります。

### 爲替貯金管理所

(京橋區木挽町  
逓信省内)

女子の使ひ途は非常に多くなりましたのは、婦人方の爲めに喜ばしい譯です、夫れに

付けても貯金管理所の事務などは、稍々高尚で働さばいがあります、何うせ勤めるならかふいふ所が利益ですぞ。

▲採用せる理由 本所が如何な譯で女子に、爲替貯金の事務を執らす様になつた

かと云ひますと、實は全く次の如き理由からなんです。

- 一 女子は男子と違ひ喫煙をせぬので、従つて時間の上に冗がない
- 二 男子よりも比較的に缺勤する者が寡ない
- 三 爲替貯金事務は男子には寧ろ簡易で、往々仕事の上に飽が来るにも拘はらず、女子は終始一徹休みなしに執務する
- 四 男子よりも器用で仕事が早く、所謂横着者が寡ない
- 五 男女兩事務員が競争的に執務すれば、無論男子の勝に歸するが、長い月日の間には女子の根氣は却つて好成绩を得ること男子の上にある

▲募集期と資格 募集期は別に規定されて居ないです、缺員の時とか、又は事務

多忙の爲めに事務員が不足である時に、随時募集するのですが、然し遞信省吏員の紹介とか、推撰などに因つて採用される者が多いのですから、志願者は宜しく此邊に注意しなさい、資格は年齢が十四歳以上四十歳以下の女子で、小學校卒業生又は高等女學校に滿二ヶ年以上在學した人は、無試験で採用されます。

▲事務の種類は、先づ第一に預金原簿、爲替記入帳等の記入を始め、貯金通帳の原簿と照合記入、番號の検査並に漏洩、不明、誤謬等を丁寧に調査する事、又貯金登記済通知書の校訂及び總ての計算等で、種類は數多くありますが、二三日もやれば直ぐに覚えられます。

▲勤務時間と俸給 勤務時間は通常の官吏と同様で、午前の八時から午後の四時迄、春と秋とに一時間宛の相違があつて、土曜日は半日、日曜日は休日です、給料は日給十五錢から三十五錢以下ですが、特に勤勞ある者には、漸次四十五錢迄昇給されます。

## 鐵道院

(芝區鹽田橋停留場側)

鐵道作業局では、折々女員を募集致しますから、前以て左の手續を御承知の上で、願書を出すのが肝心です、思ひの外志願者があります故、遅れてはいけません。

▲採用の方法 本局の採用は、一般の志願者に体格試験と學術試験を施して、是れに合格した人々を採用するのです。

▲採用試験 体格試験は比較的嚴重で、特別の病氣は無論のこと、視力と聴力との機能が申し分のない者で、年齢は何れも十六歳以上二十五歳以下、調査課は尋常小學校卒業、出札課に在ては、高等小學校卒業生、或ひは之と同等以上の程度で學力試験を行います。

▲試験科目 は、讀書、算術、作文、習字の五科目です、最も高等女學校三年級以上を修業した者は、何へも無試験で採用されます。

▲事務及給料 事務は、改札とか、切符賣とか、會計などで、調査課の給料は十八錢から二十錢迄、出札課は三十錢から三十五錢迄です。

### 通信局電務課 (京橋區木挽町 逓信省内)

かふいふ場所に雇はるゝには、何う致しても同省内に勤めて居る、役人方の周旋が近途ですよ、何處迄も表面向にやつて行つては、入るのに手間が取れます、兎も角左の手續文は誰れにも必要です。

▲募集期と志願書 缺員がある度毎に募集しますから、志願者は次に書いて置いた様な書式を、通信電務課にお出しなさい。

(第一書式)用紙美濃紙志願者自筆の事

### 女子通信事務員志願書

私儀貴局女子通信事務員志願ニ付御試験ノ上御採用被成下度別紙履歷書相添へ此段

願上候也

本籍 府縣郡市町村番地

何府縣華士族平民(何某何女又ハ姉妹等)

現住所 東京市何區何町何番地(何某方)

年 月 日 志願人 氏 名 印

本籍 同

現住所 同

身元保證人 氏 名 印

局長 宛

(第二書式)これも前に同じで志願者の自筆に限る

履 歷 書

何府縣華士族平民

氏名

何年何月何日生

本籍

一何府何縣郡市町村番地戸主(非戸主ハ戸主何某何女姉妹等)

現住所

一東京市何區何町何番地(何某方)

學事

一何年何月何日何學校卒業

何學校(地方ハ學校ノ所在地)

一何年何月ヨリ何年何月迄何某ニ就キ何學修業

就職

一何年何月何日何々ヲ命ズ

(辭令文及官廳ヲ記載ス)

一何年何月日願免

(同斷)

一何年何月日何會社(又ハ何々)ニ雇ハレ何々ノ業務ニ從事ス  
一何年何月日何會社(又ハ何々)解雇

賞罰

一何年何月日何地ニ於テ何々ノ理由ニ因リ何々ノ賞ヲ受ク

一何年何月日何地ニ於テ何々ノ事由ニ因リ何々ノ罰ヲ受ク

一何年何月日何地ニ於テ破産(若クハ家資分散)ノ宣告ヲ受ケ何年何月日復權ス

一身代限ノ處分ヲ受ケタル事ナシ

一禁錮以上ノ處分並ニ電信電話郵便ニ關スル犯罪ナシ

家事關係

一配遇者ノ有無

一家事ニ繫累ナシ

右相違無之候也

年 月 日

氏 名

▲年齢及資格 年齢は十四歳以上二十三歳以下で、必ず夫がない者に限り、

卒業は小学校卒業程度なれば無試験で、是と同等の學力がある者と認められた場合には、

一應の試験をした上で採用します、今其の試験科目と申すべきものを挙げれば左の如

きものです。

一 讀書(郵便電信電話に関する法規類)

二 作文(尺牘文)

三 筆算(權、行書)

四 算術(加減乗除)

▲業務 元來女子の頭腦と云ふものは、敏活を缺いて居てはんの指頭の業のみ、多  
少取るべき點があつた許りで、社會の事業からは遠ざけられて居たのでした、處が近  
來女子の頭腦が「アキ」と發達して來て、現に今採用され居る五十餘名の女員は日

々平氣で、計算係とか、電報取扱方の正否とか、さては電報の違否調査より、電報  
の誤謬調査、及び電報の遅延調査等の雜務に従事して居ります。

▲勤務時間と給料 勤務時間は一般の官吏と同様で、午前の入時から午後の四  
時迄、土曜は半日日曜は休日です、給料は最初十七錢で、夫れから段々男子職員の收  
得する月俸二十圓迄昇給します、現今最も高い給料を得て居る人の日給は、三十八錢で  
丁度九年間勤続したと云ふ事です。

### 三越吳服店 (日本橋區)

貴方は商家の店番にでもなつて、毎日通ひで月給を取つて見たほどの御精神ですか、夫  
れなれば三越吳服店へなりと、お入りになるのが宜しいでしょう、其手續は左の通り  
であります。



で這入つたのですが、時に新聞などへ廣告して募集する事もありません。

▲資格と事務 資格は十八才以上で、成べく容貌がよくなければいけません、學力は高等小學校卒業程度で、最も裁縫が堪能、愛嬌のいい人に限ります、事務は縫人の注文で、婦人がお得意の注文を日々、綿密に注文帳へ控へ置くのです。

▲勤務時間 は、大抵午前八時頃から、午後六七時頃迄勤めるのです、他の會社や銀行と違ひまして、休日と云ふものはありませんけれども、一ヶ月の中に三日位、各自順繰りに休暇を興へて呉れます。

▲給料 は、月に普通八圓から十五圓位ですが、其の人の腕次第とか、或は年功で給料を増して呉れるので、此外別に賞與金と云ふものがありました、眞面目にやると幾分の貯蓄が出来ます、何を云ふにも日本一の呉服店故、永く勤めて居れば貯蓄自らの益になります、それにまだ他の職に雇はれる途があるので、夫れは。

▲裁縫 をするの役です、然し之れは少しく手慣れた方でなくてはいかぬようぞ、

裁縫女學校を卒業して、文務省の檢定試験に及第し、高等女學校其他の専門教員にならうとする者が、云はゞ實習の爲めに入ります、中には右の資格を有つて居る方で、尙積古として来る様子だが、一反五十圓乃至三十圓位の反物を出して、さあこれを裁ちなさいと言へば、手が震えて鉄が熱れず、二三日を経て早や來なくなる方もあります、そこで同店には昨年の九月より各裁縫學校の卒業生を始めとし、一般の婦人中で望の方を採用しました、日當は充分腕の利ける者で五六十錢位、腕のない者は應分の給料を呉れることに定めてあります、給料などは何うでも裁縫術を充分に修めたいとの精神なれば、一度は是非此所にお入りなされるが、身の益にならず、工場は呉服店の裏なる二階建ての土蔵造りに、二階は五間に七間で、中央は僅に二本の柱があり、階下は七間半四方の大廣間に三本の柱がある、何れも疊敷ですが何にせよ土蔵造りの事故、従つて光線の取り工合は極めて悪ひ、夫れが爲めに階上階下とも七十個の電燈を灯し、夫れに任立てるべき細かき切れを懸ける紐を東西南北に張り、男女の職工が約

三尺五寸長六尺の裁板に相對坐致して、錦襦、鍔子眩ゆき邊りに森として裁縫されて居る態は、流石に模範場と思はれます。現に任立を致して居る人の數は、裁ち縫ひ、仕上げて夫れを分かれて總員百七十名、其中に男は百三十、女は四十と云ふ割合です、何れも揃つて腕の利ける者計り故、本式の稽古をする場所は、先づ以て此店より外はありませぬ、お望みの婦人方は、一時も早く店内に知己を求めて、お入りなされるが得策です。

### 帝國生命保險會社 (日本橋)

近頃は天分諸會社で女員を採用致します、本社も之に倣つて折々雇入れるのです、として仕事も容易く給料も割合によろしい、何でも辛棒しさいすれば給料も増され、待遇も社員同様になれるとの話です。

▲志願手續 何處の會社銀行にもせよ、女子諸君が女子事務員として雇はれるに

は、先づ社員に傳ふの求め、夫れから願書を出して置くのが一番好いのです。而して

大抵の會社の方必要があれば試験の上採用して呉れたいと思つて居るのです。

▲採用試験 試験に應じるには体格が健全で、學力が小學校を卒業した位の程度

であれば、最う採用は疑ひなしでしょう、けれども申込者の多い時には、別に又競争

試験と云ふの發行はれませぬ、

▲見習 悉く採用後の女立も毎週間はかゝる見習をやるのです、實際は

男を以て一週月前後は此の見習を以てその美事の新大事務に差支がない

迄に練習した時に、初めは立派な事務員となるので、然るに會社では容易く事務員

にはなれぬとせん、

▲事務 本社の現に合採用して居る所の女員は、彼此二十名餘りありませぬ、何れ

も皆未だ人の事務を擔當して居るので、主に保險證書の書換や、又は電話の受

▲執務時間 は、二期に區別されてあつて、三月十五日から九月十四日に至る間は、午前の八時から午後の四時迄に限られ、九月十五日から翌年の三月十四日迄は、午前の九時から午後の四時迄と云ふ極めです、而して女子事務員執務中は、一定の制服を着用せねばならん規定です。

▲給料 本社女子事務員の給料は、悉く日給です、普通は二十五銭から四十銭位の間ですが、固まり是れに随つた譯ではありませぬ、其の人の階次第をきん入、増給されるです、又別に社員の積立金の制度や、特別慰勞金及び恩給制度などの設けがあり、従つて、給料以外の恩恵がけない金を得られます。

### 株式仲買店 (日本橋區)

女員の履歴は、株式仲買店などに延及して来たか、聞けば座つて居てお客に接する役には、却つて女の方が愛嬌が豊く、聲の受けもあつてさうです、若しなれば、

角縁故を求めて、四方に口をかけておくが肝腎です、出入頻繁の場所なれば其のうちは、乾度適当な雇ひ先が目付かります。

▲採用手續 何にもさうむつかしい事はありませぬ、新聞に採用の廣告でも出れば、直接に行つて相談してもよいが、さうでない限りは仲買仲間に懇意を以て求め、周旋して貰ふ方が早途で信用されます、突然行つたのでは先方も其本人が性置來歴も分からねば、又女の癖にあつたかまじいなかと、疑念を受けられても面白くない譯です、平常仲買店に入入する人は、何處の店には缺員があるとか、乃至は特に女番頭が欲しい位の話は忽ち耳に入ります、依つて周旋人の宅には折々尋ねて、口の有無を催促するのです。

▲店向の人 何んな婦人が仲買店向きだか、申す迄もなく容貌が好く愛嬌ある、敏活に應接上手な方であればいけません、應接振の如何に依りましても客の來るを察しないとい、大した關係があるので、早く云へば商人染みた婦女でなければ雇は

呉れぬ、詰り讀書算盤も一通りは出来て、其上婦人としての男子に接する特別の愛嬌を有つて居らんと、雇主の方でも男の店員を雇ふ方が益な勘定にもなります、さすればお望の方は先づ此邊に注意し、且つ株式界の事情を多少は習つておくが第一です。

▲給料額 給料は何の位呉れるかと聞けば、婦人としては却々好い方で、大抵は少額の給料も十圓以上貰はれる、店に依りては通勤もあれば、其店に寄食して帳簿が導ければ、多少店内の事を手傳ふようにすることもあり、一樣には申されませぬが、兎もあれ決して勞働的ではなく、寧ろ氣遣いを使ふ方であれば、婦人の性質如何に依りて、樂々給料を取らざるやうな考ひも起るでしよう、夫れは給料の外種々の臨時餘徳があつて、之を併せると月三十圓位は手に入るやうです。

### 帝國博品館

皇橋區新橋  
上野廣小路

貴方様は、骨も折れず其上清潔な仕事をし、給料を取りたいもののお考ひですか、未

れならば後にお話申す所を能く憶えて、早速入るやうに運動するが宜しい。

### ▲志願の手續

年齢は十五六歳から卅歳位の可成獨身者で、容貌や風采が餘りに醜くない、加ふるに品行が良くて、小學校卒業程度のある志願は、豫じめ紹介を求めて事務所に申込んで置きなさい、すると欠員があれば試験なしで採用されますが、時に競争試験などを行はれる事もあります。

### ▲事務

は、即ち物品を販賣するので、別に何の事もない様ですが、只た其處に愛嬌や、多少の身振りが必要でありましよう。

### ▲給料

は馬鹿に安いですが、通常日給十錢位ですが併し茲に又、賣上高を月末に精算したもの、百分の一、即ち一分宛を給される事になつて居ます、ですから一日平均五圓位の商をしましても、月末の収入は併せて四圓五十錢位になる勘定です。

### ▲勤務時間

は、平均午前八時頃から、午後の四時頃迄ですが、日々の仕事と云つても各自受持つて居る店の物品をば整理するとか、又は紛失盗難に罹らぬ様に注意

して、可成多く客に賣附けるにあるのです、けれども此の事務は、普通の商店と違つて始終忙しいと云ふ事がありませんから、自己受持の商賣を忽かせにせない限りは、色々の編物などの内職が出来ます。

此外市中の商店で、俗に店賣りに女子を雇ひますことは、皆さんも新聞で御承知でしょう、先達中も神田神保町の東京堂といふ書店で、店賣係を募集しましたが、何れも年齢は十五六歳以上二十歳以下で、ヤーをちらかど云へば容貌のよい人を取るのです、それは是非共幾多の客に接し、其上愛嬌が必要なもの故、餘り醜い人や無愛想な人はいけません、給料は五六圓より七八圓、勤めの時間は朝の七八時頃より夜の八時位迄で、少しも骨の折れる事はないのです、兎も角望み方の多い世の中なれば、前以て申込みおくが便宜な譯であります。

## 日本銀行 (日本橋區)

銀行會社が女員を採用したのは、此の日本銀行などが眞先でした、名は銀行とは申すもの、丸でお役所ですから、厳しい代りには勤める者にも確かであるらしい、近頃は却々望の方が多故、採用願文は前以て出しておくが肝腎であります。

▲志願手續 本行には現に百人餘りの女子事務員が採用されて、日々各自の業務を採つて居ます、で本行に這入る手續は如何な具合にやるかと云ふは、別に本行では新聞へ募集廣告などを出しませんから、最初行員に傳手を求めて、夫れから本行の志願書を出して置くのです、すると銀行では缺員が出来れば、右の志願した人々を順番に呼出し、而して高等小學校卒業程度の採用試験をします。

▲採用試験 採用試験の科目は作文、算術、讀書、身體検査等で、特に紙幣の番號などを記入する必要から、羅馬數字を知らねばなりません、茲に忘れてはならん事

は、年齢が十五歳以上四十歳以下で、府下の公民、又は土地を持つて居る二名以上の  
確實な保証人のある者でなければ、試験は愚な事志願する事も出来ないのである。

▲勤務時間 本行の女子事務員は、簿記其他の方法を執りません、主に兌換券の  
調査とか、廢棄された紙幣の消印とか、又は利札の勘定などの事務に従事するので

が、併し行々は銀行員の資格を作らせて、夫れから段々と簿記方、計算方にも使用す  
る方針だ相です、で勤務時間は毎日午前の九時から、午後の四時迄と云ふ極めで、特  
に土曜日は半日切です。

▲給料 是等女子事務員の上には、別に取締ど、副取締との二つの役目があつて、  
取締は月給十五圓以上、副取締以下の者は皆日給五十錢以下です、此外別に常雇と臨  
時雇と云ふのがあつて、常雇は日曜祭日の休暇には、矢張り勤務日の中に加へらるの  
ですけれども、臨時雇は實際勤めた日しか給料を呉れません、最も勤勞者には、年末  
に其れ相當の賞金を給與します。

▲入行後の注意 本行は政府の保護を受け、我國幾多の銀行が模範とする丈あつ  
て、行則は殊に嚴重で、何處もなく諸官省めいて居ますから、行員は何れも役所へ勤

める様な考を持つて居ります、其故止むを得ない事故で、缺勤をします場合には、夫  
れ相當の手續が必要ですが、病氣とか、又は一身の都合で七日以上にも缺勤が長延く  
時には、醫師の診断書を係りの者に出さねばなりません、かよ厳しくてこそ却つて、  
入る方の身の益でしょう。

## 日本勸業銀行 (總町區 内山下町區)

本行の採用手續の内輪の事は、日本銀行の場合に畧ぼ同一です、お入りにならうとあ  
れば、公告前に志願書を届けておきなされるがよい、なるべくは行内に紹介を求めて。

▲採用試験 本行では、女子事務員に缺員があれば公告に依つて、募集した人々  
を試験して、其の合格した者の中から、所要の人員丈を採用して居ます。

▲試験程度 は、先づ第一は作文で、普通の尺牘文、第二は算術で加減乗除切り、次は銀行や會社に關する法款類の讀書で、終りに身体検査があります、程度と云つても高等小學校を卒業した位の學力があれば、大概採用疑ひなしです。

▲志願資格 年齢は十四歳以上で、採用された場合には、東京市内又は府下に、公民権を有するとか又は、土地家屋を所有して居る二人以上の身元保證人がなければなりません。

▲事務 普通の銀行會社では、殆んど計算とか庶務とかに、女子事務員を使用して居りますが、本行では之と違つて、兌換券の調査とか、廢棄紙幣の消印とか、又は利札の勘定などに限られて居ります。

▲給料 は、總て日給です、最初は二十錢、夫れからは其人の腕次第で、おとんど昇つて行く事は、今更云ふ迄でもないでしょう。

▲勤務時間 は、午前の九時から午后の四時迄と云ふ極めで、土曜日は特は半日

▲缺勤手續 本行は諸官廳と同じ様に、萬事規則が正しくあります、ですから事故の爲めに缺勤する場合には、必ず夫れ相當の手續を要するので、それが一週間以上も長引く時には、醫師の診斷書を添へねばなりません。

### 東京鐵道株式會社 (京橋區)

銀行などで使ふ女員と同じように、先づ女向に適當な仕事をさせるので、或點に於ては男よりも成績がよいとの評判です、近頃又募集する故、前以て願書を出しておきなさい。

▲志願者の手續 本社は時々缺員があれば、新聞などへ廣告して募集します、けれども入社志願の女子諸君は、可成社員に傳手を得て、夫れから願書を差出す方が、容易く入社する事が樂でせう、年齢が十五歳以上、學力は小學校卒業程度、体格が丈

夫でさへあれば、採用は屹度疑ひなしですが、尙是れ以上の詳細い事を知りたいと覺召す方は、直ちに本社へ行つてお聞きなさい、さすれば本社では、丁寧に話して呉れます。

▲事務 本社では、現今三十名の女子事務員を採用して居ますが、その中二十名は會計部に、四名は株式部に、四名は庶務に勤務して居ます、會計係は乗車券及現金の受拂を掌り、株式係は株式の書換や、印鑑の取替事務など、其他一般の庶務を扱ふのです。

▲給料 給料は何れも皆目給で、入社した當初は普通十七八錢です、けれども其の後、本人の勤勞や、其他成績如何に依つて、段々を給料を増して呉れます。

### 看護婦及産婆

婦人の性質から何が一番天職に適ふて居るかと申せば、看護婦産婆でありましょう。

以前は實地さへ出来れば夫れでなれましたが、今では試験の上免状を持つて居る者でなければ許されません、しで見れば何うしても學科と實地を修める必要があり、學費ですか、そう要しませぬ、幾分資金のある方は學校に入るが早速で、若し無いと仰しやるなら又方法があります、何れにせよ細かい事は私がお話し申しますから、夫れを能く御承知の上で方針を定めなさい。

▲看護婦講習生 看護婦を志望なさるには、年齢が十八歳以上で身體の健全な、高等小學校卒業程度位の學力を持つて居らなければならぬですが、先づ第一に看護婦を養成する病院とか、或いは處々にある看護婦會で、生理學、解剖學、看護學、病理學、綱帶學、藥物學、又は實地練習等の諸學科を、講習生となつて少くとも二年間位は研修なければなりません。

▲助手の日常 かくして某病家に派遣された看護婦の助手となつて、間接の患者に接し、或いは入院患者に付き添つて居る主任の看護婦に従ひながら、益々實地の練習



を積む傍、會の寄宿舎で會長や舎長の、講義などを聽いて段々見聞を廣めるのです。助手は病家とか又は患者から、勞役賃として不染病なれば日當三十錢、傳染病なれば同五十錢を申し受くるのですけれど、會の方では三十錢を得ると、其内から會費として二割乃至二割五分を差し引き、後の殘金は皆呉れます、而して寄宿舎の方は皆賃費ですから、充分自分で食ふ事も出来れば、月々の小使錢にも左程苦しみません、處が病院の助手となると、日當を受けぬ所もありますけれど、大抵そう云ふ所は賃費生です。敢て學費の心配は無用です。

▲試験と免狀 官立や私立の病院に居る看護婦を除いた、他の看護婦即ち病家の需に應じて出掛け、而して相當の日當を業を業とする者は、是非とも東京府廳から看護婦免狀を受けねばなりません、之を得るには府廳の規定して居る規則によつて、所定の試験を受け、而して夫に及第した女でなければ免狀を下附されんのですけれど、併し此の規則が發布されてから後、滿三ヶ年以上も看護婦に従事した者には、特別に

免狀を下附される場合もあります、最も此場合には其師とか、又は醫師の證明がなければならんです。

▲試験期日と願書 試験期日は毎年五月と十一月の二回あつて、共に試験は東京府廳内で執行されます、最も期日は毎回試験の二ヶ月程前に告示がありますから、志願者は四月か十月か十月かの間、次の如き出願書と、修業履歷書を添へて、而して東京府廳に差出すのです。

(出願書式)

看護婦試験願

住所 (寄留なれば本籍を併記すべし) 族籍 氏名

生年月日

明治何年何月看護婦試験相受度別紙修業履歷書相添へ此段奉願候也追而禁錮以上ノ

刑ニ處セラレタルコト無之候（又ハ何年何月何日何々ノ罪ニ依リ何裁判所ニテ何々ノ刑ニ處セラレ申候）

年 月 日

右

氏 名

東京府知事宛

區長町村長（區長町村長を置かざる） 奥印

▲試験科目 試験には實地試験と學說試験との二つがあつて、實地試験は學說試験に及第した者に就て執行されるのです、今一寸實地學說兩試験の科目を次に書いて見ませう。

- ◎學說
- 第一 看護法

- 第二 解剖、生理の大要
- 第三 傳染病豫防消毒法

◎實地

- 第一 實地に関する事項

▲看護婦會 かうして免狀を得た人々は、先づ一日も早く收入の道を探らねばなりませんから、其最も近道な看護婦會に入會するのです、今其の主なる會を記しませうか。

- 一 京橋區西紺屋町 京橋看護婦會
- 一 日本橋區久松町 杉浦看護婦會
- 一 本郷區春木町一丁目 皇國看護婦會
- 一 神田區錦町三丁目 東京看護婦會
- 一 牛込區横寺町 柘植看護婦會

一 麻布區筈笥町

十字看護婦會

一 下谷區徒士町

二六看護婦會

一 芝區西久保櫻川町

室看護婦會

一 麴町區富士見町

富士見看護婦會

等で、皆何れも病家からの需に従ひ、其傍志願者を養成して居ります。

▲産婆養成所

現今東京府下で、産婆を養成する所が十數箇所もあります、けれども其實曖昧なものが多いのですが、次に掲げた所は立派な産婆養成所ですから、可

成志願者は是等の養成所に這入る方が好いでせう。

一 神田區駿河臺鈴木町東京産科婦人科病院内

東京産婆講成所

一 日本橋區矢の倉町櫻井産科婦人科病院内

東京産婆學校

一 神田區猿樂町水原産科婦人科病院内

水原産婆養成所

一 日本橋區濱町三丁目楠田産科婦人科病院内

楠田産婆講習所

▲入學者の資格と募集期

入學者の資格は體格が強壯で、品行の好い高等小

學校を卒業した者、左もなければ是と同等以上の學力を有する満十七歳以上の婦人で、東京市内に確實な保證人のある女でなければなりません、修業年限は何れも満一ケ年で、生徒募集期は毎年三月と九月との二回、學期は毎年四月又は十月の一日に始まつて、而して翌年の三月又は九月二日に終ります。

▲學科と學費

各産婆講習所では専ら産婆學を教へ、而して産場で其の實地を練

習せしむるのですが、教へ方は皆口授で學科は解剖學、生理學、産婆學及び實地練習の四科目、且つ標品や圖畫を示して、生徒に筆記をさして居ます、學費は入學當日束脩として金壹圓五十錢を納附る外、授業料が一月一圓、寄宿生なれば一月大抵食費が四圓五十錢塾費として別に五十錢を仕拂ふのです。

▲當分は助手

かう云ふ風でやつと學校を卒業したにもせよ、まだ一人前の

産婆となるには容易じやないです、ですから學校を卒業したならば、今度は病院の助

手となつて實地に臨み、或は産家に就て一面産婆の業を助けながら、一層其道を研究  
反復する事二三年で、漸く府縣廳の産婆試験に及第すれば、初めて産婆たるの資格を  
得て産婆名簿に登録せられ、夫より愈々天下晴れての立派な一人前の産婆となるので  
す。

▲大学の産婆復習科 府縣廳の名簿に登録せられて、産婆の資格を得た人々で  
あつて、尙一層其の道を練磨しようと思ふものは、醫科大學第一醫院産科學教室の産  
婆復習科にお這入なさい、復習期限は四ヶ月で入科の手續も極めて簡單で、特に同教  
室主任や教授が専ら産婆に缺くべからざる講義を授けて呉れるのですから、卒業の  
際には實地學術共に完美して、茲に漸く立派な産婆となる事が出来ます。

### 女雇人口入業 (市中至る所に在ります)

東京に来て何處へなりと奉公し、幾分の衣類や金を残したり、行儀作法を稽古したい

どの御希望は、夫れは結構な譯です、市中の各區至る所に口入業はありますが、  
其頼み方は先づかふいふ鹽梅式にすれば、間違はないのです。

▲親戚知己に便る 何でも東京に知人や親戚があれば、真先に其處へ行つて厄  
介になるが宜しい、漁車漁船の途中で、何國の人か知らぬ者と懇意になり、話の末に  
夫れならば私が周旋して上げましょうなどと、誠に都合よい事を云ふ者もありませんが、  
無暗に信じてはなりません、これは多く詐偽か心のよからぬ人達で、ウツかり信じて行  
かうものなら、飛んだ災難に遇ひますぞ、何でも關はず東京の知己親戚を尋ねて、事  
の次第を話した上世話頼みに限ります、若し無ければ已むを得んから、市中で廣く  
大きな店を張つて居る口入業を尋ね、一時も早く何處へなり雇はれるに限る、餘り好  
ま嫌ひをして居ると宿錢も嵩むし、遂其間に不利益な事が出来致します。

▲曖昧な雇ひ先 ですが此處に最も注意をしねばならぬことは、曖昧な雇人口入  
所です、田舎者で、學問のない、容貌がよくつて容姿も悪くなく、一寸垢抜けがした

者と見ますと、直ぐ安々受合つて、此處に確かな處から頼まれて居る口があります。貴方一つ其處に行つては如何です、何しろ先方は金持で、女中の三四人も使つて居る位ですから、仕事とても眞個に樂で傍らお針の稽古も出来れば、學問もすることも出来ます。又は田舎に好い口があります、貴方は其處へ行く氣がありませんか、田舎と云つても東京より三四里の道程で、停車場も近邊です。ゆへ東京へ來たいと思へば、直ぐにも來られ給料も三四圓呉れるし、夫れにお家婦様が人が好いから、別に氣を置く心配もない實に氣樂な處ですが、如何にも都合の好い眞らしく話すやら、勸むるやら、いやに功德をならべる處があります。此んな處は仲々油斷が出来ん、若し此んな處の口車に乗つたら最後、蕎麦屋とか、料理店とか、さもなければ藝者屋とか又は女郎などに賣らるゝ事もありません、可成彼様な雇人口入所なんかを避けた方が身の爲めです。

▲確實な口入先 尙其外處に由りては 惜しい事には今は好い口がありません。

昨日迄は二つもあつたんですが……如何です、好い口が見就かる迄家に宿つて待つて居なさい、丁度二階が明いて居ますから、何に其んな遠慮は決して無用です、其中には折角、私も外ならぬ貴方から頼まれたとですから、何んとか骨を折つて好い處を周旋して上げますから、慣々しく頭うごかし親切に話す處もあります、總て此等は何れも六なことがない處で、こんな處に引つ掛ると、とじの詰りが曖昧な處に雇はれるとか、又は毎日いやらしいことをして、人の氣嫌氣褻をとるなど、皆身を墮落させる基となるのですから、田舎から出て來た都に慣れない人も、都に生れた處の人でも、可成人から確實であるかないかと云ふ事を聞き、自分も出来る丈注意して、よし給料が少し位安くとも、つとめて役人か、さもなければ官吏の家に雇はれる様にせんければ、末の出世はおろか、自分の損となりませぬ。

▲周旋料 元來此等雇人口入所は田舎者を欺して、澤山の金を食るのが仕事であつて、人を雇入する周旋なんかは、實の處家業でも何んでもない、一金の儲けの手段で

すから、其の周旋料も従つて高く、周旋した者からも雇入れた先からも、半歳目／＼毎に金六十錢をとるので、丁度一と月で十錢づゝに當る割で、其の同一主人に雇はれた限りは、六月目毎に金六十錢づゝを拂はねばなりません、以上は一般に行はれる習慣で、時に依りてはこれと違つた方法で、周旋料を定めることもあるのです。

### 諸工場の女工 (至る所に女工を募集して居ります)

府下至る所の工場には、女工を使はんと所は殆んどない位です、夫れを一々紹介し切れぬに依りて、先づ割のよい誰にも出来る職工の種類丈二つ三つお話ししましょうから、職を持たぬ方々は左の手積や内部の有様を、詳しく御承知の上で、直ぐに申込む方がよいでしょう。

▲印刷局の女工 これに入るには、最初局内に勤めて居る者の紹介で願書を出すのです、若し新聞になりと女工募集の廣告があれば、強ち紹介は要りませぬ、只紹介

がなければ入るにも便宜なので、願書はさうむづかしい事はありませぬ、自分の原籍身分年齢住所等を、局で渡した用紙に書いて差出せばよい、さうすると何月何日に身體検査と學科の試験を致します、いや學科の試験も名許りとして、極々容易いものです、ほんの讀書算術が出来れば差支ありません、マ一尋常小學校四年級を卒業した位の程度であれば、大概な方には合格ります。

合格すると今度は二名の保證人を立てる、そして一名は市内に住居して公民権を有つてる者に限ります、これでよいとなれば指定の日より出勤する、給料は日給で十九歳以下は入りたてが十四錢で、三月目毎に三錢づゝ、昇給します、又十九歳以上は入りたてが十七錢で矢張り、三月目毎に三錢づゝ、増される、現に月三十圓以上も取る女工が居ります、勤めの時間は午前七時から午後四時迄で、遅くとも七時迄に局に行つて自分の名を記した札を取る、さうしないと欠勤んだ者と認められます、そして第一の土曜日は半日で他は矢張り四時迄迄、日曜は平常は休みで半日分の日給を貰ひ、臨時勤め

るといふ時には一日分の日給が取れます、尤も定の時間外に勤めることもあるので、此時は相當の割増金を渡されるので、月少なくとも六圓位にはなる、局内には辨當菓子屋があつて、自家から用意して行かぬ方は、月末拂で取つて食べられる、毎日休息時間は午前は十一時から十二時迄、午後は二時より十五分間、休まれる規則になつて居ります。

▲砲兵工廠職工 貴女は砲兵工廠に入つて給金を取りたいとな、宜しい手續をお話申しましよう、常の日は何うしても現に工廠に勤めて居る、女工仲間に周旋して貰ふのが、第一早道かと思はれます、これならば造作なく入れる、若し新聞で募集廣告あれば、直接に願書を出して差支ない、そうすると體格検査の上採用する、年齢は十八歳以上で、何れも電氣、小銃仕上げ、鞍工などに使ひます、日給は入りたてが十七錢で、少し熟練の者は一日三十から四十錢は取れる、勤める時間は男工と略ぼ同じですが、只朝が三十分遅いと退が三十分早いから、都合男工よりは一時間益な譯で、

夫れに時間外に勤めると割増が貰はれます、此所は戦争の爲めに非常に忙がしいから日給の外に特別に増給されるゝやら、何やらで一ヶ月十二三圓になるさうであります。

▲製糸紡績工女 これは府下龜戸町東京社生糸製造工場を始め、鐘ヶ淵紡績會社、瓦斯紡績會社各所で募集して居ります、新聞に募集廣告をせんからとて、平常缺員なので、尋ねになつて望みの事を話せば、必ず入れて呉れるのです、が未成年では職工になつてもよいといふ、父兄後見人などの承諾書が必要なので、只本人が親の許しもなく突然國許を飛出し、東京に來たといふやうな事では、後日雇主の方で何んな迷惑がかかるか知れませんが、夫れ故右の承諾書は、入る場所に依つては身元證明書、戸籍抄本など持つて來いと、かふ申すかも知らない、此邊は篤と御承知の上、田舎から來る方は、豫め戸籍謄本を貰ひ受け萬事萬端用意して上京なさるが何よりです、給料は見習中は大概十二三錢で、よくなれば四五十錢は取れます、そこは入る方の辛抱と腕で、今茲に判然と申上げる譯に行かぬのであります。

▲鑑詰女工 今度の戦争で鑑詰製造者は、政府からの御用で却々忙がしいのです、現に東京市では、神田連雀町の小田原屋、須田町の西村、同柳原川岸二號地の朝比奈、外神田旅籠町の内田、京橋南傳馬町の河村等其他澤山あるのです、入り口の無い人は兎も角遊んで居る間に、かふいふ所に入つて働くがよいのです、労働は眞正とやら決して上下の區別はありません、夫れに給料も高いし、やり付けない素人でも直ぐにお金になるから、一時も早く申込んで見るがよろしいです、然し左に示す内部の有様を、能く御承知の上で。

第一労働の方法で、何んな事をするものと申せば、原料を切斷て罐に詰めるとか、次に其の罐に封蠟を施して熱湯に入れるとか、又は罐に色を付け、色紙を張るとかで、女方には至極楽な仕事です、働く時間は大概午前の六時から午後の六時に至る十時間位ですが、急がしい時には殆んど徹夜をする事もあります、夫れで給料は十時間働いて十五六銭位、勿論十時間以外に働く時は割増が出ます、勘定日は十四日と三十日

との二日で、上衣は雇主が呉れますから、他の仕事より割が好いのです、此外は

▲團扇の張子 戦争畫の彩色、煙草製造所、花弁の細工場、夏敷物のかいり、絹毛絲の編物、菓子袋の張子等述べ来れば澤山ありますが、皆此等と同じやうな事で、手間賃とても八九銭から三十銭位です、一つ此等のことをやつて見たいと思ふ方は、諸工場や又は商店へ行つて、願つて見たら好いでしょう。

## 附録 最簡易ある就職便宜の學校

### 銀行事務員養成所 (神田區)

銀行や會社へ入つて、給金を取りたいとのお精神ならば、此所で簿記や其他の學科を修めるがよいのです、最も速成にして卒業の上は、所長が夫れ／＼周施の勞を取つて呉れます。



▲目的 本所は専ら銀行事業に關する緊要な學術と、實務とを成べく速成に教へて、將來銀行の業務に従事する事が出来る處の、立派な銀行事務員を養成するに努めます。

▲教科目と卒業期

教科目は銀行簿記、珠算、銀行事務取扱方、家計簿記で卒業期は甲が三ヶ月、乙は五ヶ月、丙は九ヶ月、丁は十ヶ月です。

▲入所期及資格

入所期ですか、そうです入所期は時期を定めて居ませんから何時でも入所を許します、夫から入所資格は高等小學校卒業程度の學力があれば、大丈夫夫入る事が出来ます。

▲授業時間

授業時間は甲乙が午前八時から午後十時迄、丙は午前八時から午後四時迄、丁は午後六時から同十時迄です。

▲學費

授業料教場費として甲は金八圓、乙は同金五圓、丙は同金參圓、丁は同金貳圓で納付期日は、始めての入所者なれば始業當日、在學者は毎月三日迄に前納する

のです。

▲特典

本所は品行方正身元が確實で、學資の乏しい者には、授業料を免除します、又卒業生には、夫れ／＼相應の位置に、周旋紹介して呉れます。

▲寄宿舎

本所には寄宿舎があつて、寄宿料は一日金貳拾五錢、一ヶ月金六圓五十錢です、此外神田淡路町一丁目一番地にも、本所と同名の銀行事務員養成所があります、所長は今井清茂で、授業料や卒業期、又は卒業後相當の處に周旋する等、少しも其内容は本所と變りがありません、夫れに此頃は地方の銀行會社から迄も、本所に宛て社員入用の旨を申し來るので、所長は卒業生の伎倆年齢性質と申込者の條件などに應じて、生活の方針を立て、やるのです、さすれば二三ヶ月修學の餘裕ある方は、かふいふ所にお入りなさい。

# 主計學校

貴方は會社銀行員になりたいと仰しやるのですか、夫れには簿記始め會計事務と、修めて居ませんければいけません、就ては本校はでも入つて速成的にやるが肝腎です。

▲目的 本校の趣旨は公私の別なく、専ら社會一般の會計に關する必要な學術と、夫れから實務とを教へて、この後商店とか、銀行とか、又は會社及び官廳等の會計事務に従事する職員と、簿記計算などの教師となる者を養成するのです。

▲學科 には本科と撰科との區別があつて、本科は全体の科目を收め、撰科は一科目以上各生の所望に従つて、何れも夫れ一修めさせるのですが、本科の修業年限は一ケ年、撰科は別に何年とも定めて居ません。

▲課目種類 には單復普通簿記、會計簿記、珠算、經濟通論、商法、銀行簿記、銀行事務取扱法、鐵道簿記、鐵道事務取扱法、鐵道學大要、工業法規及經濟、官廳

簿記、會計法令規則、財政學大意、實務練習等です。

▲學年と學費 學年は九月の十一日に初まつて、翌年の七月二十五日に終ります、入學年齢は十六年以上、學力は中學二三年級位の程度でなければ、入學する事が出来ません、學費は入學金として金一圓、高等科の授業料が金二圓で、本科撰科は金一圓五十錢、夫れから校費が三十錢です。

▲高等主計課 には、本校卒業生が更に一層進んで、主計事務の蘊奥を研究する者の爲めに、特に便利を計つて設けられたのです、修業は下に記した四課目で、各自志望の課目を専攻するのですが、何れも六ヶ月で卒業します。

- 一 會社主計科 原理攻究及事務實踐 事務實踐及練習
- 一 銀行事務科 原理攻究及事務實踐 事務實踐及練習
- 一 鐵道主計科 原理攻究及事務實踐 事務實踐及練習
- 一 官廳主計科 原理攻究及事務實踐 事務實踐及練習

▲隨意英語科 以上列記の外、本校には特に隨意科として、英語學科が設けられて居ります、其の科目は譯讀、習字、書取、會話、作文等です。

### 清語學堂速成科 (神田區)

戰爭では勝ち領分は廣くなるにつけても、有爲の諸君は一奮發して支那滿洲に大成功を遂げる決心が第一です、かふなると豫め支那語文は、修めておかんければなりません、そこで本校を紹介した譯です。

▲主旨 本學堂の速成科は、戰後渡清の上種々の事務や、又は其他の事を營むもの便利を計り、且つ清語通譯を養成する爲めに、臨時に設けたのであります。

▲學科 は支那語學と支那時文との二つです、支那語學は、正則と簡便とを主として、日常語の大体に通曉せしめ、支那時文は各部門に亘つて、其の意義の大綱を了解せしめます。

▲修業期限 修業期限は三ヶ月ですが、本堂は幾回も速成科を募集し、已に第五回以上にも及んでるのでありますから、修業月名は時に變更します。

▲授業時間及授業料 授業時間は毎週十八時間で、毎日午後の六時から同十時迄の間です、又授業料は卒業する迄金七圓で、入學した時に納めるので、束脩はありません。

### 露語講習會 (神田區仲達樂町 東京航海學校内)

戰爭が始まつてからは、大分露語の通譯を其筋で採用致します、時節柄露語を研究して置けば、斷じて飯の喰ひはぐりはありません、いや戰爭は各方面に使ひ途があるのです。

▲目的 本會の目的は、目下の時局の段々と進むに従ひまして、元露西亞の領分であつた處とか、又は其の國語が行はれて居る土地で、種々難多の事業を經營するもの

便利を計り、一は目今缺員して居る、露語通譯を養成するのです。

▲速成科 本會には速成科と云ふのがあります、専ら露西亞語學を簡便と正則とを以つて、平常の日用語に通曉せしむるが目的で、發音、讀方、譯解、書取、會話、露文和譯、和文露譯などを、速成に教へます。

▲修業期限及授業時間 速成科の修業期限は四ヶ月で、第一回の卒業は特に六月の一日から、八月の卅日迄三ヶ月間に卒業させます、授業時間は毎週十八時間で、毎日午後の六時から、同九時迄です。

▲學費 授業料は皆んなで七圓です、入學の當日全体を納めるのですが、東條は要ません。

右申上げた通りに、短かい月日で記憶し得られます故、早く糊口を全ふしようとの精神なら、かふいふ學校で勉強致し、官報や新聞の廣告に注意すると、陸軍省では通譯生を募集する、此機を外さずに試験を受けて見るが肝腎です、よし其の方にお望み

にならぬとて、萬が一戦争でも平和になれば、滿洲や浦鹽斯德に内外人が繰り込んで、種々雑多の事業を始めるに相違ありません、この時こそ得たり賢くして、例の通譯で立派に雇はれる便宜があります、將來を思ふ諸君士方は、今より多少此邊をお考へなさるゝがよろしいでしょう。

### 東京速記者研究學會 (神田區)

演説講話の流行する今日ですから、速記なりと修めて給料を取るのも、これ又面白い話です、夫れに僅か二三ヶ月も修めれば憶えられ、直ぐにも給金が取れる譯故、比較的旨い職務です、今本校の修學手續を紹介しますれば。

▲目的 本會は速記者を専門に、國會とか府縣會とか、又は郡區會、町村會、裁判演説の講義から、討論の果てに至る迄凡てありとあらゆる、傍聽速記學術を教へ、而して之を實地に應用せしむるのです。

▲科目 本會は普通科、速成科、及び校外部の三つに分かれて居て、卒業期は普通科が六ヶ月、速成科が三ヶ月、校外部が三ヶ月です、最も普通科の修業期は二ヶ月で、練習期は四ヶ月、又速成科の修業期が一ヶ月で、練習期が二ヶ月であります、此處に一寸断はつて置きますが、卒業期とは速記法の學理を教へる時、練習期は其の學んだ學術を練習する時を云ふのです。

▲教授時間 普通科は毎日一回で速成科は毎日二回です、授業は午前八時から同十一時迄、午後一時から同四時迄、夜學科は六時から九時切りです。

▲學費 普通科生の月謝は金七拾錢で、又速成科の月謝は金壹圓四拾錢で、教場費は金貳拾錢ですが、受験料は金五拾錢、別に練習科の者は毎月會費として、金五拾錢を納めるのです。

▲校外生 本會には別に校外生の設けがありますから、如何なる田舎の人も、之を學ぶ事が出来ます、校外生の卒業期は三ヶ月で、毎月一回校外部から講義録を送付

します、會費は毎月金四拾五錢で三ヶ月分を前納する人は金壹圓と參拾錢であります、此外部下には尙幾多の、速記を教授する處がありますが、中にも四ッ谷區須賀町の速記日曜學校、麴町區一番町の速記義塾などが、マア好い方でせう、前者の校長は我が國速記術の創起者として有名な田鎖綱紀氏で、後者の主幹は荒浪市平氏です。

### 臺灣協會專門學校

(小石川小日向  
茗荷谷町)

本校も前と同じように支那語でも修めて、通譯になつて見たいと思ふ方は、至極適當な學校です、そして今度の戦争には本校の卒業生を高い給料で通譯に澤山採用したさうです。

▲目的 本校は専ら臺灣や清國で、政府の事業とか、自己の業務を營むもの、爲めに、必要な學科を授け、其傍ら法律や經濟などに關する學術と、夫れから英語や支那語臺灣語などを教へます。

▲**學課と修業年限** 學課は臺灣語、支那語、英語、簿記、數學、統計學、法學通論、民法、商法、國際法、國法學、經濟學、財政學、商業地理、植民史、亞細亞史等で、修業年限は三ヶ年です。

▲**入學資格及入學期** 年齢十七歳以上の男子で、體格試験に合格した中學校卒業業者、又は文部大臣が専門學校の入學試験に關し、中學卒業者と同等以上の、學力を有せる者と指定したもの、さもなくば専門學校入學者檢定規程に依つて、合格證書を下附された者は、何れも無試験入學が出来ますけれども、入學志願者の數が募集人員に超過した時は、英漢數の三課目で更に選抜試験を行はれます、此の選抜試験に及第した人々は、本校の入學期即ち九月に入學するのです。

▲**學費** 本校の入學試験料は金壹圓で、授業料は一ヶ月金二圓五拾錢、夫れから運動及び語學練習會費として、一ヶ月金叁拾錢づつ、を毎月七日以内に納めるのですが、一月分と九月分とは、其月の十五日迄でも好いのです。

▲**特待生と貸費生** 何處の學校でもですが本校では學術が優等で、品行方正な者を選んで特待生とします、特待生は毎學年の末に其の學年試験の成績に依つて、本校の職員會議を開き、其の決議で次學年度の授業料を免除します、又學術が優等品行が方正な生徒で、學費支辨の道がない者には、第二學年から一年間、特に學校から學費を貸して呉れます。

▲**校長と特典** 今の内閣總理大臣桂太郎氏が本校の校長です、で本校の在學々生は、徵兵令第十三條の特例を受け、本人在學中は徵兵を猶豫され、其の上、卒業の曉には一年志願兵となる事が出来ます。

▲**寄宿舎** 本校には特に寄宿舎の設備があります、目的は在學生の性格を修養し、成べく修學の便利を與ふる爲めに設立されたので、舍務を掌る爲めに舍監一名と事務員一名とを置き、經費は舍費として月額金九圓、舍費として同じく金二圓です、オツト忘れた本校の學生は、皆入舍すべき義務を持つて居るのですが、併し二三年のもの

は通學を許されます。

## 岩倉鐵道學校 (下谷區)

日本鐵道會社を始め、官私設の鐵道會社に入つて、驛員になりたいと思ふなら、此岩倉鐵道學校に入學して、速成に學科をやるが得策なのです、本校を卒業した者は、日本鐵道會社では使ふことになつて居ります。

▲目的 本校は將來 鐵道事業に従事すべき技術員とか、又は事務員などを養成する處で、現に幾多の本校卒業生は、頗る好成績で全國の各鐵道會社に採用されて居ります。

▲學年及學期 修業年限は二箇年です、學年は毎年四月一日と十月の一日との二回に初つて、一箇年で終るのですが、學年を更に前學期後學期の二つに別れて居て、前學期は四月の一日と、夫れから十月一日との二回に初り、後六ヶ月を経て終るので

すが、後學期も又之れと同様です。

▲科目と授業時數 科目は建設科、機械科、事務科の三ツあります、授業時數は、各科何れも毎週二十四時間宛です。

▲入學期及入學資格 毎年二回九月と十月との學期初めに、入學を許可します、それで入學資格は、年齢十六歳以上三十歳以下で、高等小學校卒業程度の學力を持つて居る者には、無試験で各科の第一年前學期に入學を許可します、又さもない中學第二級以上、若くは之と同等以上の學業履歷書を持つて居る者、或ひは此れ迄官私の鐵道に職を採り、又は工業に關する官廳 諸會社の技術部に、就職した證明のある者は、各科の第一年後學期に入學する事が出来ます。

▲學費 入學受驗料は五十錢で、入學料は壹圓と五拾錢、授業料は第一級各科共金壹圓五拾錢で、第二級は各科とも金二圓宛です。

▲高等科 此の外別に高等科と云ふがあります、本校の卒業生で猶一層進んで、各

料の濃奥と極りんど、欲する者の爲りに設けられたのです。

▲寄宿舎 本校には寄宿舎の設備があつて、志願者には入舎を許可します、合費其  
他の者は、時價に依るのですが一定して居りません。

### 東京高等工務学校 附属職工徒弟學校 (職工部)

何うか文明國の職工となりて、世を樂しく進みたいと思ふならば、かゝいふ學校に入  
るのが必要です、今御意考迄に同校の規則を御紹介申しませうか。

▲目的 申す迄もありません、善良の職工たるべき者を養成致し、兼ねては職工教  
育の方法を研究する所なのです、此學校を卒業しさいすれば、何處の會社工場に行か  
ふとして、高い給金で、そして直ぐにも雇つて呉れます。

▲教科々目 以木工科、機械科、金工科の三に分れて、又木工科を分ちて大工、  
指物、建築製圖の三分科、金工科は鑄造、木型、鍛冶、仕上、板金工附鉛工、機械製

圖等の六分科で、各教科の科目は修身、算術、理科、材料、工具及製作法、圖書、實  
修、体操の外特に機械科は、機械法と云ふのがあります。

▲修業年限及教授時數 修業年限は機械科が四箇年で、木工科金工科が各三箇  
年です、毎週教授時數は、第一學年が三十六時乃至四十二時、第二學年が三十七時乃  
至四十三時、第三學年が三十八時乃至四十四時で、又機械科第四學年は三十九時乃至  
四十五時間です、けれども讀書、作文、習字等の毎週教授時數は是れ以外であります。

▲入學試験 入學期は學年の始め即ち四月で、缺員のあつた時は臨時に入學を許  
すこともあります、入學試験は先づ最初に身体検査を行ひ、夫れから是れに合格した  
人は、次の様な學力試験を受けるのです。

- 一、國語 二、算術 三、圖書 (建築製圖及び機械製圖分折に限る)

▲受験資格 第一品行方正身體強健な者で、第二に年齢機械科は十四年以上十  
八年以下で木工科、金工科は十二年以上十三年以下の者、第三番目に學力で、機械科



は高等小學校第二學年修了の者、木工科、金工科は高等小學校修業年限四箇年の尋常小學校卒業の者、さもない時は是等と同年以上の學力を持つて居る者、又は特別の事情がある者は、前の様な年齢に限らず、入學を許可する事があります。

▲學費 授業料を徴收するは只第一年の生徒のみで、他の者は決して採りません、其の金額は毎月金貳拾五錢で、八月は之れを除きます。

▲貸與 本校では、生徒實修用の道具類を一切學校から、之を貸し與へて呉れます、ですから生徒は、實修用道具として只の一物も購ひ求むるに及びません。

▲必要品 入學の許可を得た人々は、次に書き記した書籍と、夫れから物品を買はねばなりません。

- 一 工業化學書 全一冊 代金貳拾五錢 發行所日本橋區
- 二 工業物理書 全一冊 代金參拾八錢 吳服町普及舎

最も物理書は第一、第二、第三學期の初めに求めるのです。

- 三 圖引道具 一組 代金二圓位
- 四 三角定規 二枚 代金二十錢位
- 五 BB印の鉛筆(自在書用) 一本 代金五錢位
- 六 HH印の鉛筆(用器書用) 一本 代金六錢位
- 七 小刀(削づきのもの) 一箇 代金二錢位
- 八 圖書紙(全紙にて) 一枚 代金六錢位
- 九 字消さひ 一箇 代金三錢位
- 十 羽筆 一箇 代金一錢位
- 十一 留針 四箇 代金四錢位(四箇にて)
- 十二 曲尺 一本 代金八錢位
- 十三 インチ尺 一本 代金八錢位
- 十四 筆記帳 三冊 代金十五錢位(三冊にて)

十五	同	(日本野紙綴)	一冊	代金十錢位
十六	半紙		一帖	代金三錢位
十七	水筆		一本	代金四錢位
十八	墨筆		一挺	代金六錢位
十九	筆筒(鉛筆水筆墨小刀)		一個	代金五錢位

右の外在學中入用な筆紙などの代金は、一ヶ月凡金十五錢以内にて充分でせう。

▲卒業生 本校卒業生は、卒業後二年間本校の監督を受け、現業練習の爲め官私の工場に於て、實地の作業に従事すべき義務があります、けれども現業練習に従事する適當な工場がなかつた場合は、東京高等工業學校長の承認を経て、本校で實修を爲し或は一時、他の業務に従事することが出来ます。

▲卒業生の給料 卒業が現業練習中、即ち卒業科二ケ年以内に於ては、日給叁拾錢以上五拾錢以下ですが、卒業後二年間學校の監督を受けて、職工認定證書を得たも

の、又は既に三ケ年以上現業に従事した人々は、何れも五拾錢以上の收得があります。

## 工 手 學 校

地方官廳の技手を志願の方や、若しくは此際奮發して、戦地に工事の技手なりとやつて見たい考へなれば、本校でも卒業すれば申分が無い譯です、現に本校卒業生を澤山採用して居りますよ。

▲目的 本校は邦語で土木、機械、電工、造家、造船、採鑛、冶金、及び製造合密などの各科を教へ、而して此等各科の工手を養成するのです。

▲修業年限と學科 修業年限は二ケ年で、之を四學期に分け、而して各期五ケ月で卒業します、夫れから學科は豫科と本科との二つに分かれて居て、第一期第二期には専ら豫科を修め、第三期第四期には本科を専修するのですが、授業時間は午後の四時から、同十時迄の間です。

▲課目 豫科の課目は、算術、代數、幾何、三角術、英語初歩、物理學初歩、舍密學初歩、工業用普通文、製圖等で、本科の科目は土木學科、機械學科、電工學科、造家學科、造船學科、採鑛學科、冶金學科、製造舍密學科等です。

▲生徒及傍聽生 本校は生徒と正科生徒、別科生徒の二つに區別して、正科生徒は豫科と本科中の一學課、或ひは二學課を修むる者、又別科生徒は本科中一二の學課、或ひは其學科中の數課目を修むる者です、此外別に傍聽生と云ふのがあります。

▲入學試験 正科生徒の入學は、毎年二月と九月との二回で、別科生徒及び傍聽生は、學校の都合で時々募集します、で豫科第一期へ入學する者の外は、入學試験を要するのですが、今次に其試験課目を書いて見ませうか。

豫科第二期入學試験科目

算術全体、代數(加減乗除)、幾何(直線形迄)、英語初歩、圖書普通文。

本科入學試験課目

算術、代數(二次多元方程式迄)、幾何(平面)、三角(計算迄)、製圖(平面立体)、英語初歩、物理學初歩、舍密學初歩、普通文。

別科は別に程度を定めないので、其學力を試験します、けれども中學校或ひは師範學校、其他之と同等以上に認められる學校の卒業生、又は工手學校の卒業生たるべき學力を持つて居るべき者と、本校で認められた者には、無試験で本科第一期に入學を許します。

▲學費 豫科別科は、入學料として金壹圓、本科は貳圓で傍聽生は五拾錢です、豫科生徒の月謝は金壹圓五拾錢で、本科生徒及び別科生徒は金貳圓、豫科傍聽生は金壹圓で本科傍聽生は金壹圓五拾錢、又本科及び別科生徒で、二學課以上を専修するものは、一課を兼ねる毎に月謝を金五十錢づゝ増さねばなりません、其外別に校費として晝間の生徒は、一學期間金二十錢、夜間の生徒は同じく金五十錢を收むるのです。前申す通り、僅か二ヶ年の勉強で夫れ相當の月給取りになれるといふには、先づ以て本校が適當なのです、夫れに近頃は本校の卒業生を、頻りに雇ひたく申込所が多いさ

うであれば、一時も早く入學するが得策であります。

### 苦學生の執るべき最も安全なる職業

最後に一言致しますのは、苦學生即ち一厘の學費を國から送られないで、自ら勤めて生活を資金を拵へ、そして望みの學問をすることであり、これは却々至難しい事、餘程の堅忍不拔な決心が肝腎です、其克己心さへあれば如何なる業も苦勞とは思へません、目的とする學問の手段として、勤くのであるから夫れは誠實に賞資すべき譯であります、儲そんなら何んな職業を撰べばよいが、未だ東京の事情を知らぬ方には分りませぬ、東京に來たてて職業に迷ふ方が澤山あります、其うちに持つて來た金は皆遣い果してしまい、失望落膽して其結果は墮落する方が多いのです、此邊は充分に注意して貰ひたいのであります。

之れから學問をなさる方々が、金を儲けるといふ事は、餘り感心した話でもないが、

學費を得る爲めとあれば已むを得ないので、其代り多少は骨が折れても學問の出来る時間が多くあつて、そして又墮落せぬやうな處へ入るが宜しい、生活し金を得るは學問をするの手段である一事を忘れてはなりません、兎角郷里を出る際は、堅い決心を持つて居られても、東京に來ると忽ち意氣が變つて、學問はそつち除けに一錢も多くの金を儲けたがり、夫れが抑も失敗の原因であり、そこで此決心が定まつたら、今度は就くべき職業の種類を、左に教示申ませう。

▲牛乳の配達 東京の各所に牛乳を販賣する店があります、市中の得意先に毎朝毎夕牛乳を配るので、此配達人が必要である、だによつて其店々を尋ね廻はつて頼んで見るがよいのです、朝も早くから配達すると、午前七時頃迄には用が済みます、夫れからは學校へ行くことも出来れば、又宅に在つて勉強も出来る、午後四時頃から又配達がたらに空瓶の取り集めをする、之れも三時間位で用が片付く、さすれば夜學にも往かれるので、苦學生には最も適當の業であります、給料は住込食事一切主人が

持つて呉れて、此外月三四圓位は貰はれる、無益な小遣に使はなければ、結構勉強には不足を感じないと思はれます、時によつては得意一軒を増す毎に、何程と定つて歩合を呉れる主人もある、學問の爲めと思ふたら、一生懸命に得意を見付けるが宜しい熱練て来るに従つて歩合が澤山取れるし、給金も増して呉れるのです、其次には

▲新聞の配達 でありませぬ、これは市中の新聞社から配達するの、取次店から配達するの、二つ程ありますが何れにしても、往つて苦學の次第を物語り、雇ふて買ふが利益であります、牛乳の配達見たやうに、毎朝未明に配達し始めて、午前の七時頃には仕事が終わらぬ、若しも號外でも出て臨時に配達するとか、夕刊でも配達する場合には、又それ丈の手當が取れる、午時七時頃に配達し終ると、夫れからは學校に行ける、新聞社の方の配達であれば、夜の十二時頃に本社へ行けばよいのですから、勉強の時間は充分にあります、晝の内の學校でも夜學校でも何れでも宜しい東京には夫れに好都合の學校が澤山あります、其邊は職を見付ての上で定めるが得策

です、給料はとお尋ねなら、住込食事一切で三圓内外、本社の方へ雇はれて毎晩通ふことなれば、月給は八圓位のもので、何れにしても差はありません、殊に此種の労働は書生や食客とは違ふて、彼れ此れ主人に束縛を受けぬによつて、労働することゝあれ、氣は至つて樂なのです、又購讀者を即ち得意を作れば一軒に付て五錢宛の賞與が貰はれる、運動がてらに、此所彼處と尋ねて、頼んで見れば取つて呉れる家が澤山あります、だによつて出来る限りは辛抱なさが宜しい、労働は神聖です、決して青雲の志ある方々は、此労働に恥づる事はありません、さうして充分に勉強なせるが肝腎何處までも悪い朋友を避けて、悪い風習を真似ぬが身の利益であります。

▲點燈夫 これは市中の各軒にある點燈を掃除して、夕方には火を點する職業であります、東京には神田柳原に日本點燈株式會社といふがあり、同區の佐久間町には東京點燈株式會社と申すのがあつて、各所に澤山の支店を設けて盛んに點燈夫を募集して居るのです、雇はるゝには造作もないので、本社又は出張所へ行つて頼んで

見るがよい、して仕事の時間は午前八時頃から十時頃迄、受持の點燈數丈を掃除し油を入れて歸つて来る、モ一用は無い、午後五時頃から火を點に廻はる、三時間内外で済んで仕舞う、夜間でも晝の内でも充分に勉強が出来る、給料は世話役が日給四十錢より七十錢迄で、點燈夫は日給定もあれば、點燈の數によりて相違があります、一個に付て二厘五毛の手當を受けるので、それが一ヶ月には十八圓七十五錢の收入になる、併し獨身者は多く各出張所に寄宿して、食事は出入の辨當屋から取つて食べる都合で、普通に日給三十錢以上四十錢位迄假りに、一日夜具食料二十錢を要すのであれば一ヶ月には三圓内外の金が残る、之れが學校の月謝や書籍代になります、熟練すると今少し給料が上るによつて、夫れ迄は骨の折れる事は覺悟せんければなりません。

▲化粧小間物の行商 之れは東京市中の買ひさうな家を廻はつて、石鹼やら齒磨やら、種々の品を出して見せた上で、買ふて買ふのであります、身装には構いません、事ろ轉でも着いて苦學生の眞装を見せたならば、却つて同情を深くして買ふて呉

れるのです、東京にはかふいふ事を専門として、保證人の難かな者さへ二名程付ければ、品を貸して呉れる所があります、さすれば資本は一毛も要らぬ勘定です、初めのうちには物恥しくて出来ぬといふ人もありませうが、そんな事には顧着する必要はないのです、辭を低ふして同情心を惹き起させるやうに、快活に得意先を廻はるが肝腎です、一度買つて呉れば二度も三度も買つて呉れる勘定で、東京の客は地方とは違ひ極めて直なものでありますして、一日の賣上は五圓から七圓位で、三割位は黙つて純益があるのです、熟練して来ると一日二圓位の儲けがある、けれども雨天の時には行商も出来兼ねるによつて、晴天の時に充分働いて市中を廻はるがよい、何でも朝は早く午後は五時頃迄に切り上げるので、夫れから夜學には結構參られます、東京には此種の労働者が澤山ある事は、來て見れば追々に分ります。

此外に種々の労働もあり、又書物にも澤山書いてあるが何れも實行出来ない事で、云はれよいか加減の事でもあります、決して信用は出来ぬによつて、御注意なさるが利益で

す、尙著者は本書又は本書外、諸君の疑問に對しては、親切に教示致しますから、遠慮なくお尋ねあるがよいと思ひます。

手簡易 男女就職案内 終

明治四十三年五月七日印刷  
明治四十三年五月十日發行

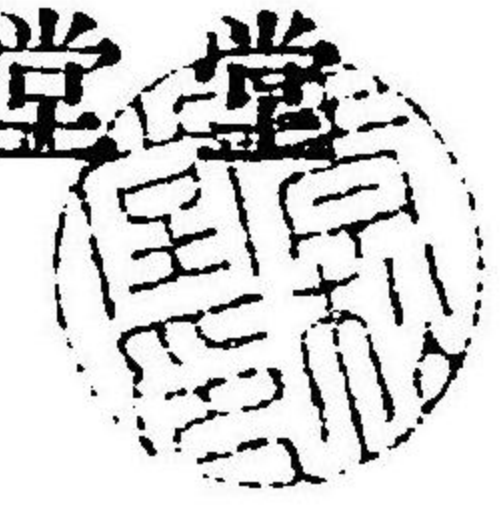
復製不許  
定價金參拾錢

著作者 富田 蟻 陵

發行兼印刷者 松 橋 清  
東京市神田區蠟燭町十番地

印刷所 健 捷 堂  
東京市神田區表神保町一番地

發行所 東京市神田區蠟燭町十番地 青 松 堂  
發兌 東京市神田區金澤町十八番地 永 樂 堂  
大賣捌所 東京堂東海堂至誠堂六合館二松堂文林堂大洋堂



264  
72



